

337-80

82
665

明治四十四年三月

最近南米事情第一

日本羅甸亞米利加協會

目録

- 第一、「アマゾン」太平洋鐵道の計畫
- 第二、墨西哥國ノ大祭日
- 第三、亞米利加に於ける羊業
- 第四、「リオグランデ」より「パナマ」まで
- 第五、五十年前キアソン氏の南米横斷
- 第六、「アルヘンチナ」百年祭の盛況

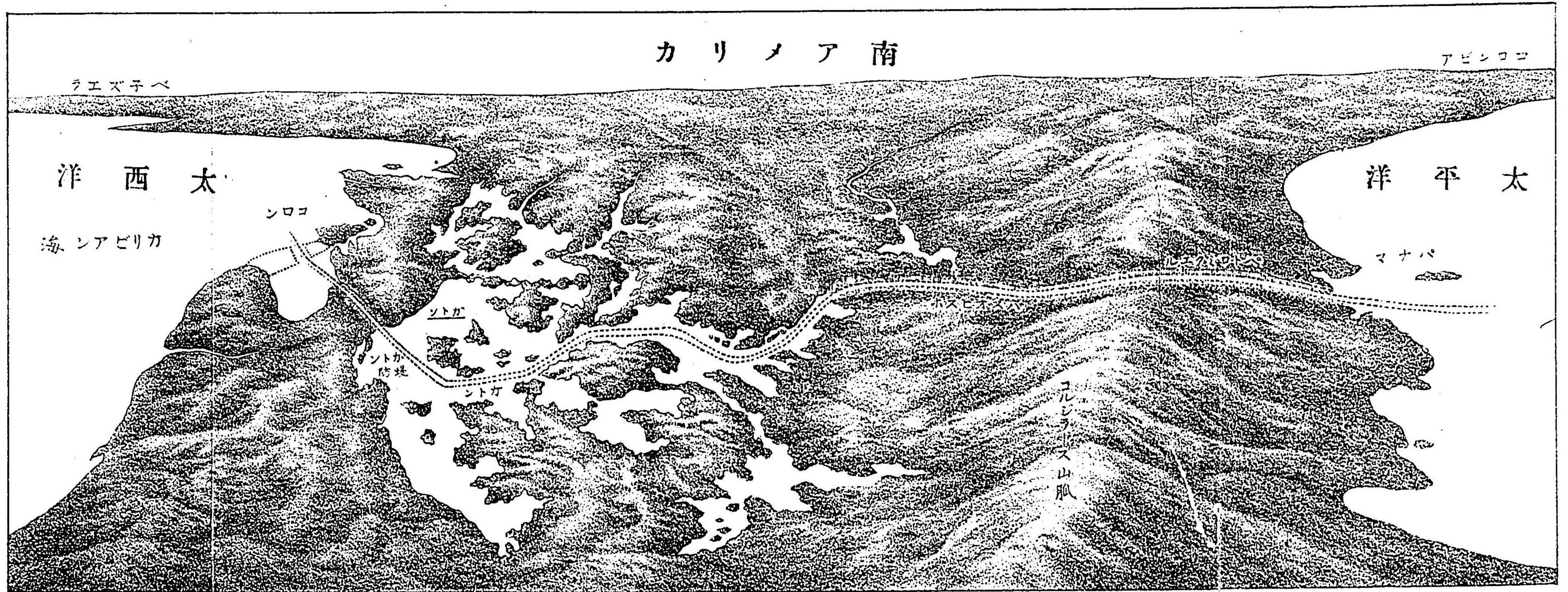
國勢

- 第一、「アルヘンチナ」共和國
- 第二、「ボリビア」共和國
- 第三、「ブラジル」共和國
- 第四、「チレ」共和國
- 第五、「コロンビヤ」共和國
- 第六、「コスタリカ」共和國
- 第七、「エクアドール」共和國
- 第八、「グアテマラ」共和國

- 第九、「ハイチ」共和國
- 第十、「フホンチユラス」共和國
- 第十一、「メキシコ」共和國
- 第十二、「ニカラグワ」共和國
- 第十三、「パナマ」共和國
- 第十四、「パラグワイ」共和國
- 第十五、「ペルー」共和國
- 第十六、「サルバドル」共和國
- 第十七、「ウルグワイ」共和國
- 第十八、「モンテビデオ」共和國

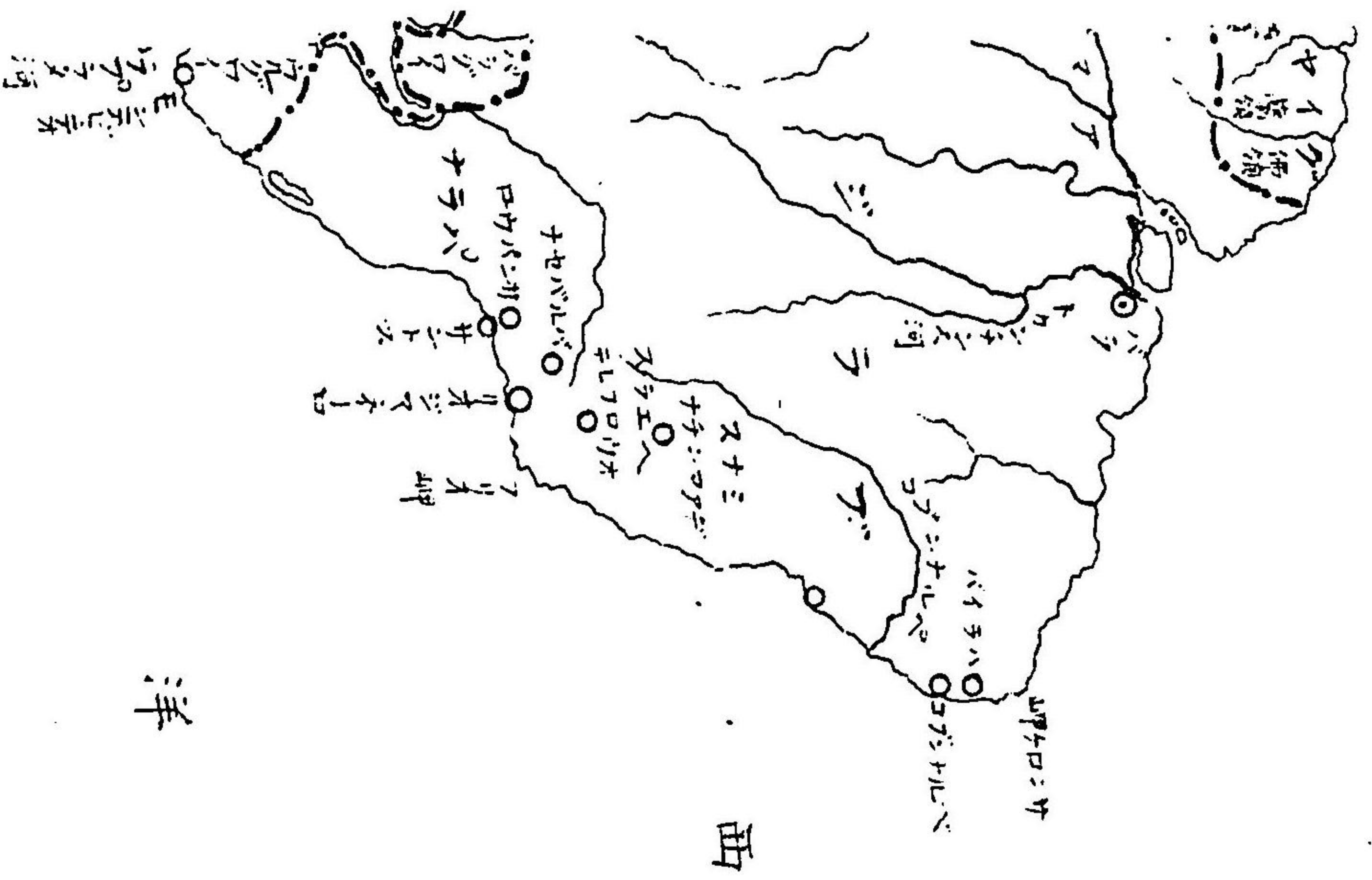
パナマ運河の全景

南アメリカ



パナマ運河の全景は大西洋のコロロンより太平洋岸のパナマに至る距離三十二哩なり、其三分の二は湖沼にしてバスオビスホの水間よりペトロシクエルの水間に至る九哩の間はコルチラーレス山脈の山地なり

大



洋

西

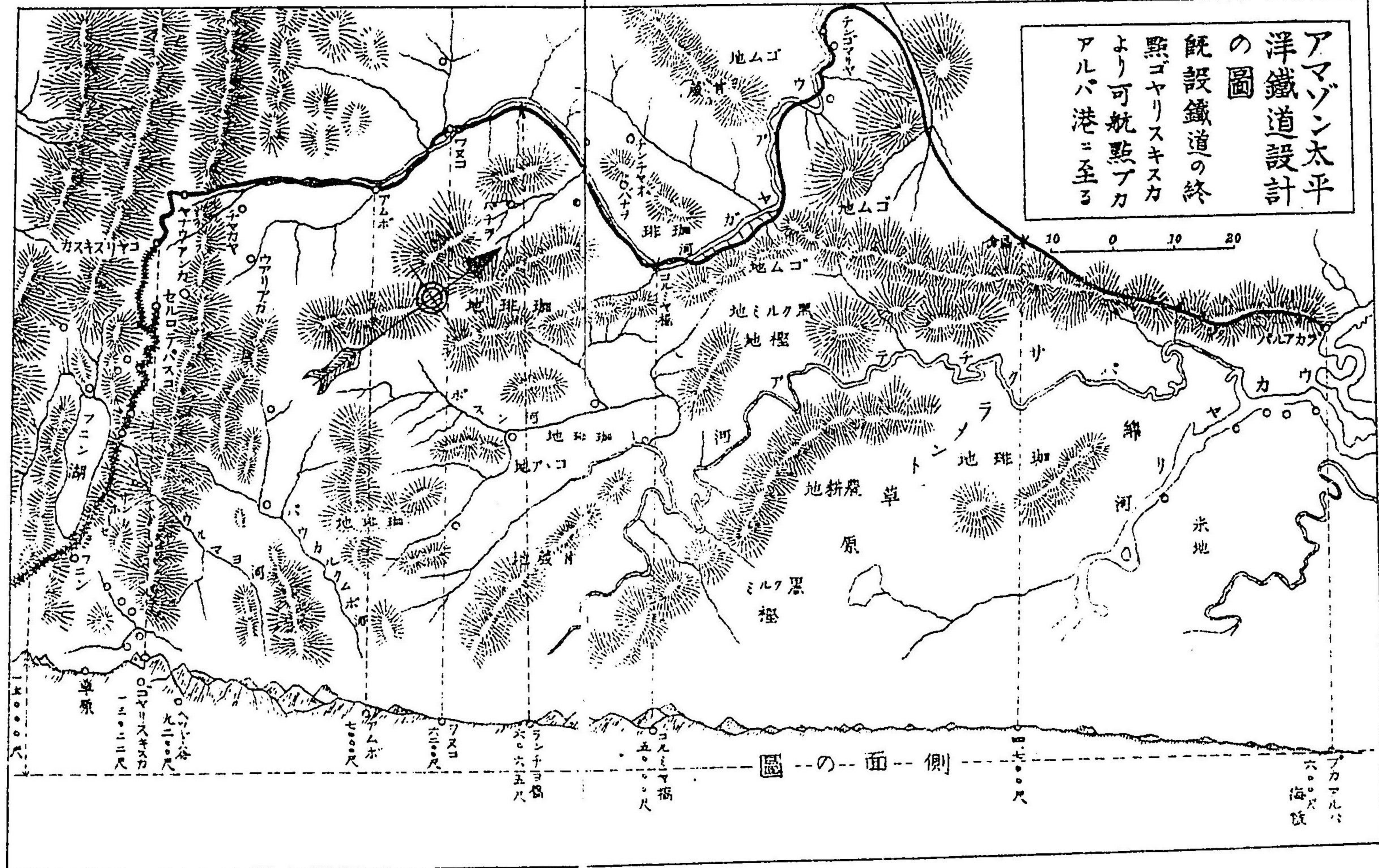
ナリ

島ナリ

島ナリ

アマゾン太平洋
洋鐵道設計
の圖
既設鐵道の終
點ゴヤリスキスカ
より可航點ブカ
アルバ港に至る

10 0 10 20



圖の面側

ブカアルバ
六〇〇尺
海抜

四七〇尺

五〇五尺

六〇六尺

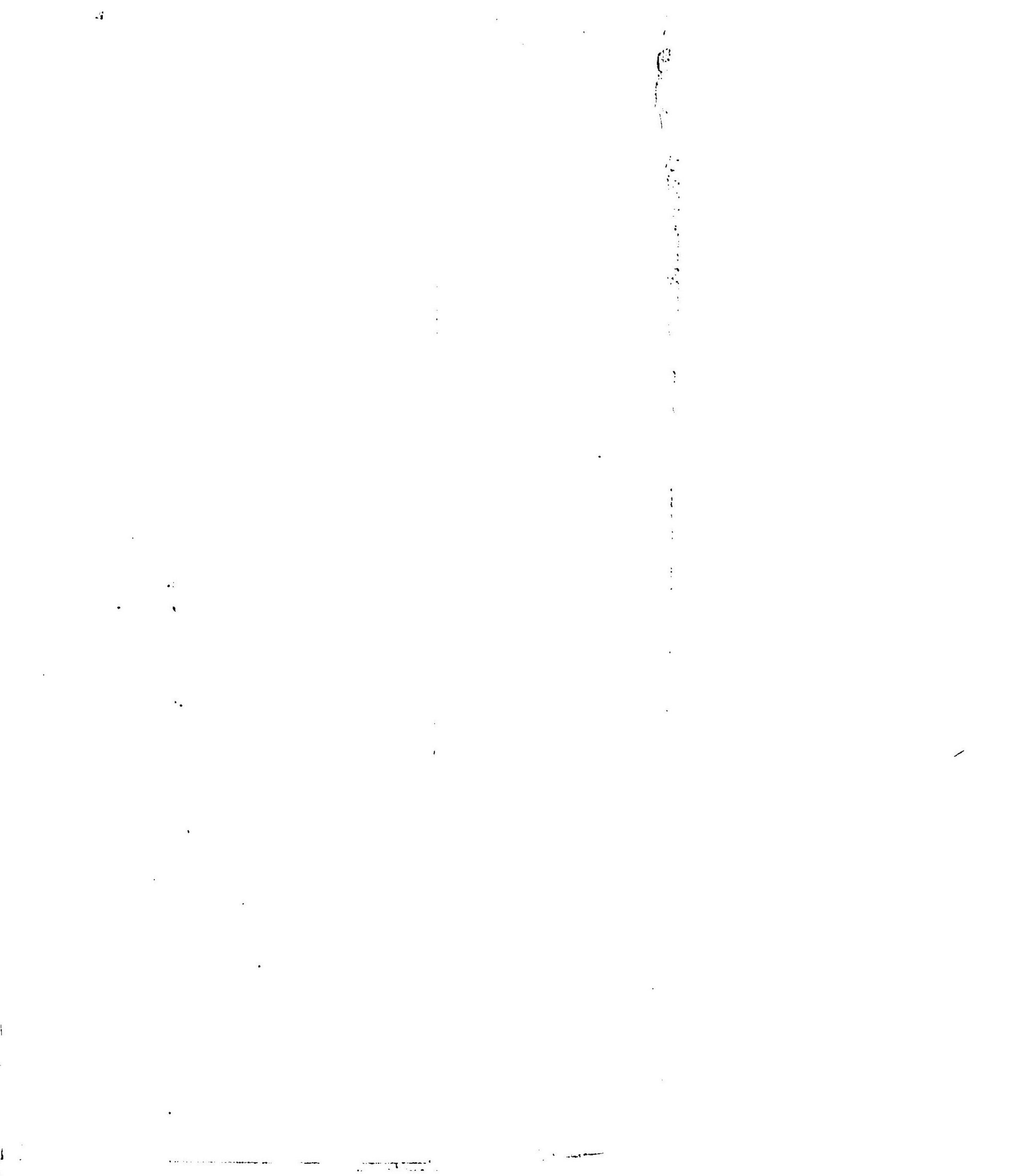
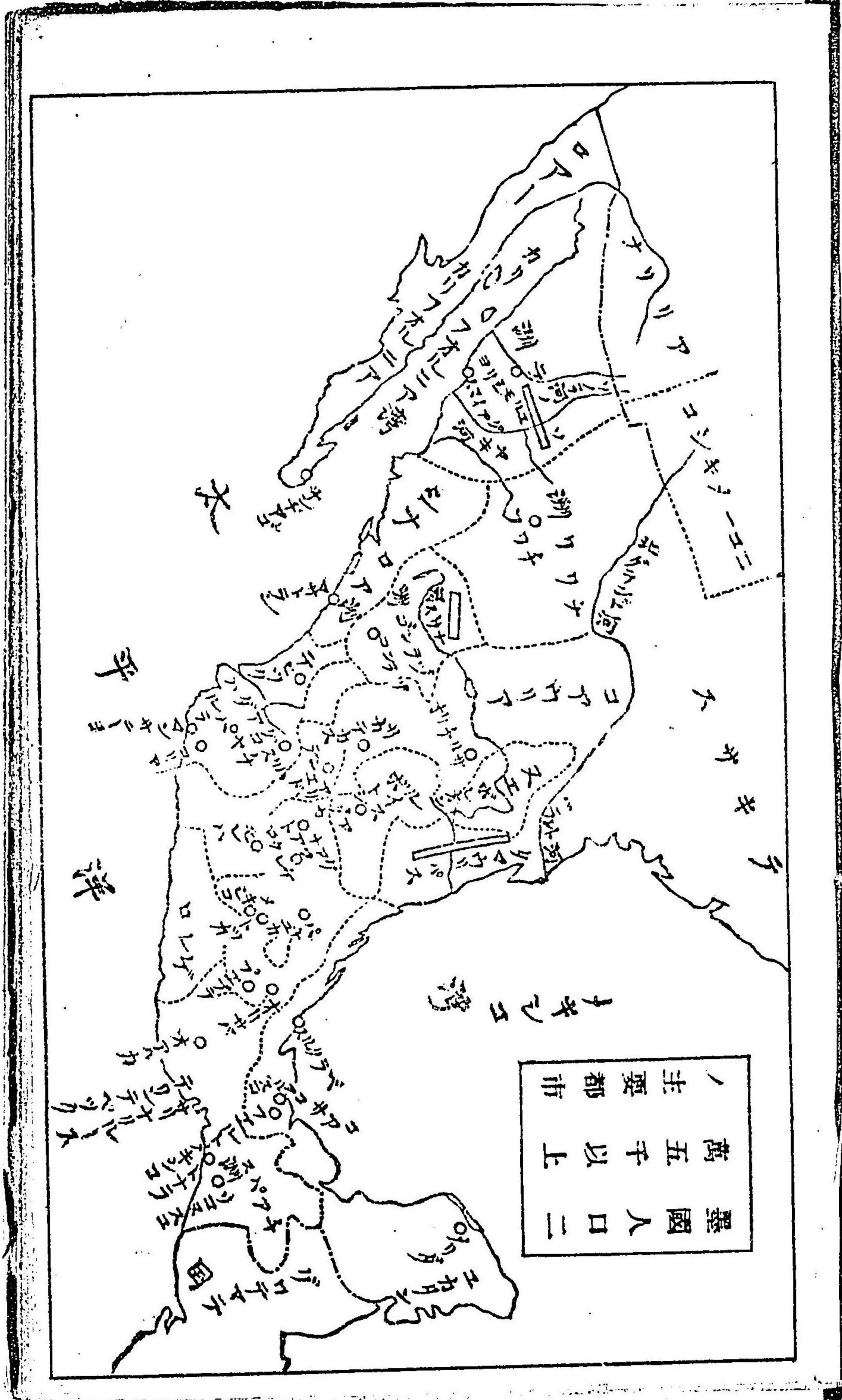
六二〇尺

七〇〇尺

九二〇尺

一三〇〇尺

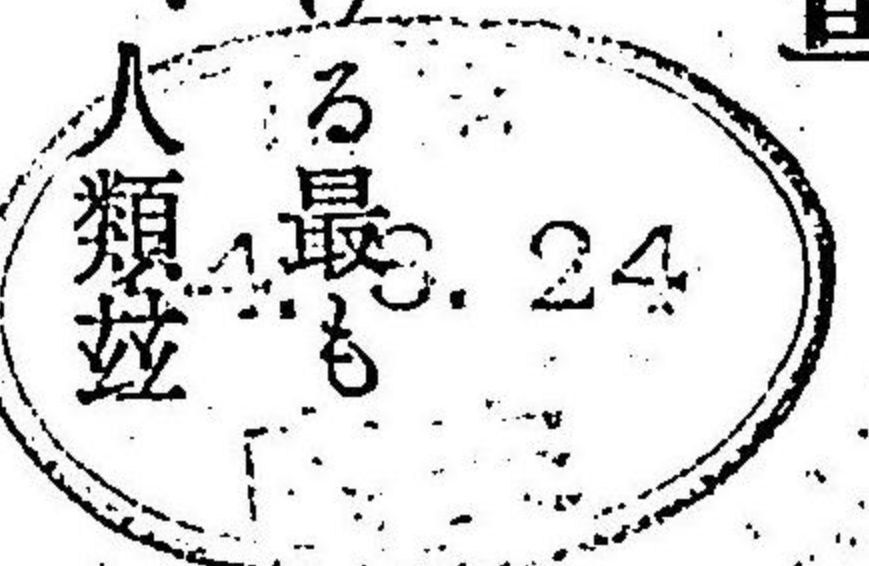
一五〇〇尺



第一 アマゾン太平洋鐵道の計畫

(秘露國大富源の開拓)

南緯十度「アンデス」山の東側なる秘露の大高原は、世界に於ける最も未開の地なるが、此高原位又産物に富むもの世界其比を見ず、人類茲に繁殖し愉快に生存するは支那内地と同日の談にあらず、山には銀鐵石炭銅錫鉛水銀、河には金や金剛石其他の寶石、森林には珍奇なる藥料香料、ゴム、樹脂、染料、殊に品質良好なる木材殆んど盡きるを知らず、氣候四時暖にして酷しからず、通商貿易を妨ぐることなし、是に於て此地に汽船を通じ、鐵道を布設し、人口を移植し開拓に従事するあらしめんか、秘露は一朝にして世界に富強を稱ふるを得るや必せ



り。

秘露政府富國の方針亦之に外ならずして「アンデス」山を横斷し太平洋とアマゾン河の上流可航點とを連結する鐵道の敷設に腐心する一朝一夕の故にあらず、或は北方「バイタ」港よりせんとし、或は南方「クスコ」市よりせんとし、或は中央「オロヤ」市よりせんとし、調査に調査を重ねたりしが、愈「オロヤ」鐵道の終點「ゴヤリスキスカ」より「ワヌコ」市を通し「ウカヤリ」河に達するものを最も有利なる線路なりと認め、三千萬圓を投じて今後四年間に布設する事に決定したり。

此線路の他に比し有利なる點を擧ぐれば一二にして止まらず、第一、鐵道の利益を受くるものは純粹に秘露國のみにして他の線路の如く利益を他國に壟斷さるゝ恐なし

第二、既設中央鐵道即首府「リマ」を通過してアンデス山頂に達する所謂「オロヤ」鐵道と連結して中央の一大幹線となる

第三、線路の通過する地方は、石炭を始め其他の鑛物に富み、「ウワヤガ」河の豊饒なる谷に沿うて下るのみならず、有名なる「サクラメント」の大草原を通過す、此「サクラメント」の大草原たる、長さ八百哩廣さ百哩の最大最富なる谿谷にして、ゴム樹及木材盡きる事なく農作物亦豊饒にして實に秘露國の將來は此谿谷に懸ると謂ふも敢て誣言ならざるなり、

第四、此線路は比較的村落多き地方を通過するものにして左に掲ぐる町村の人口を見れば、「アンデス」山の高臺猶漫遊するに足るものあるを知らん、

ゴイヤリスキスガ	四、〇〇〇人
ヤナウアンカ	七、〇〇〇人
タパク	四、〇〇〇人
チャカヤン	四、五〇〇人
カイナ	八、五〇〇人
ウアリアカ	八、五〇〇人
アムボ	九、〇〇〇人
マルゴス	一、〇〇〇人
ウアヌコ	一四、〇〇〇人
エル、バレー	九、五〇〇人
チンチャチ	六、五〇〇人

バナチ	一三、〇〇〇人
モンツーン	六、〇〇〇人
チンゴ、マリトカ	一、〇〇〇人
ブカルバ	一、〇〇〇人
合計	一〇、六六〇人

以上は其重なる町村なり此外無数の村落あり、此の如き人口の集散せるは他の線路に於て到底見るゝこと能はず、此線路は「セルロデ、バスコ」鐵道の終點「ゴイヤリスキスガ」に發し「ヤナウアンカ」より「アムボ」に至り、「アムボ」より「ウアヤガ」河に沿ひて下り「ワヌコ」を經「チンゴマリヤ」に至り「ツルマヨ」河口より所謂「サクラメント」の草原に入り、「ウアヤガ」河源と「ウカヤリ」河源の分水地を通り「プカ、アル

「バ」港に達す、「ブカアルバ」港は此鐵道の終點にして「ウカヤリ」河に沿ひ、大洋の漁船が「アマゾン」河を溯り一年に四ヶ月間此港に達す、故に此鐵道の延長は僅かに二百六十哩に過ぎずと雖も實に太平洋西の兩洋を連結する最大通行機關を形成するものなりとす、秘露に於ける「アマゾン」河の流域にして、吃水三尺乃至五尺の船舶の航行に適する所實に三千哩の長さに達し、それ以下平底船を浮ぶるに足るもの至る所にあり、之等の流域悉く相集まつて「ブカアルバ」に於て鐵道と連結すと謂ふ可く、鐵道は又それ自身に於て殆んど獨逸及埃匈帝國の面積に等しき區域の産物を集むるものなれば、秘露内地の産物は悉く太平洋岸に集まり、「パナマ」運河を経て歐米に行く、今左の表によりて距離の長短を比較せんに「ニューヨーク」より「パナマ」

を経て「ブカアルバ」に至るものは、同じく「ニューヨーク」より伯國「パラ」を経て「アマゾン」河を溯りて「ブカアルバ」に至るものより里程に於て二千三百十二哩短かく時日に於て二十日以上短かきを知る、又「リバープール」よりするも里程に於て六百九十五哩短かく時日に於て五日以上短かきを知る、而已ならず腐爛し易きものは悉く此線路に依り、「アマゾン」河を下るものは主に礦物類の大量あるものに限らるゝに至らん、

第一 「ニューヨーク」より各地に至る行程

通過點	到着點	里程	日數
	コロソ	一九七三	六
	パナマ	二〇二九	七

カヤチ	三五九	三
アンコン	三五九	三
バラ	二九二	三
セルロ、デバスコ	三七六	三
同前	六三五	四
ゴイヤリスキスガ	三七八	三
同前	六三五	四
ワヌコ	三八四	三
同前	六三五	四
プカアルバ	四〇四	一四
同前	六二五	四

バナマ、アマゾン太平洋鐵道	イキトス	四四八	一九
バラ、アマゾン河	同前	五二五	四〇

第二「リバープール」より各地に至る行程
通過點 到着點 里程 日數

バナマ	バナマ	四四八	一六
カヤチ	カヤチ	六二五	三
バラ	バラ	四〇四	一六
アンコン	アンコン	六二四	三
プカアルバ	プカアルバ	六五三	二五
同前	同前	七二四	三〇
イキトス	イキトス	七五二	三〇

パラ、アマゾン河

同前

農産物の有望なること

各種の農産物殆んど耕作せられざるなく、殊に甘蔗、米、香料、薬味類薬材、煙艸、ココア、及珈琲を最とし、「サクラメント」の平原に至れば各種のゴム、優秀なるココア無量に産し、森林に入れば種々の良材自然に繁茂す、今鐵道豫定線沿道の立木を試験するに數百の立木にして良材一萬尺に達すと云ふ、シーダ族の如きは株の直径十尺第一枝まで六十尺乃至百尺に達し、マチガニー樹の如き森林中至る所に簇がり、其直径三十インチ乃至六十インチ、第一枝まで一百尺に達し其垂直なること船檣とするに適し、而して此等有要の良材取り混ぜ平均一エーカーに八本より十五本を見出すことを得べく其他軟質の良

材料亦之に匹敵すと謂ふ

「サクラメント」の平原に於ては廣さ三四哩長さ十五哩に互り良材の尺度殆んど五億尺に達するならん、此の如き状態は單に此地方に限るのみならず、特に鐵道線路を沿ふて密集し、餘り甚だしく密集する爲に往々朽敗に歸するもの多しと雖も此の如きは多く沼地にして丘陵の上に至りては實に目覺しき偉觀を呈す、

唯に木材に止まらず、野生とは謂ふもの、多少の勞力を加ふれば以て饒多の産額を得るものに吾人は綿、ココア、及珈琲を推さざるを得ず、實に是等は此地方の富を形成する第二の大産物なりとす、

綿は主に秘露の海岸に於て耕作せられ埃及綿及アメリカ綿は其原產地より優良なるが、「サクラメント」の平原のみにては數千平方ヘクタ

一の面積は此栽培に適す、所謂ペルー綿と稱せらるゝものは其質に於て世界第一にして其價格に於ても埃及綿或はアメリカ綿の四倍即一ポンドに就き八十錢を稱ふ

ココアは「エクアドール」國の主要産物なるが、秘露に於ても「サクラメント」地方に産するものは其質に於て「エクアドール」産と同一のものなり

「ワヌコ」珈琲とは世界已に定評あるものなるが單に此地方に産するのみならず、「ウアヤガ」河及「ウカヤリ」河の谿谷丘陵には至る所産せざるなく、其質伯刺西産と異ならざるのみならず、其産額に於ても敢て劣らず、伯刺西にて一ヶ年の産額六千萬磅の産額ありとすれば秘露に於ても同額を産することを得べく、將來有望なる國産となるは

殆んど疑を存せざる所なり

抑々「サクラメント」の平原は未だ手の着かざるゴム地なり、ゴム産地としては世界の處女なり、之を全くカシボ印度人と云ふ蠻民此地方を家として人の近づくを欲せざりしが爲なりしと雖も、今や何日までも彼等蠻民の手に託すべきものにあらざれば、秘露政府は遠からず手を下して之を有望なるゴム地として世界に紹介するに至らんとす、斯く論じ來れば所謂「モンタニヤ」と稱する、一萬尺の傾斜を有する秘露山地の農産物擧げて數ふるに違あらざるべく、此地に充分の殖民を開くの擧に出でんか實に世界の最富國を現出する可し、

鑛物の概観

「アンデス」山は北米「ロッキー」山と同時代の成立にして又同地質なり

故に其鑛物に富むことは敢て多言を要せざるべく、殊に後者は前者に比し高く且つ廣大なる故に其含有する鑛物も従つて多量なること明なりとす、昔はインカス帝國の富に就て之を證することを得、今は「セロデバスマ」の銀銅山に就て之を證すること得るのみならず苟も「ウカヤリ」及「マラニオン」河床を見たる者は近世の採金機械を以てするあらば容易に多量の金を採取し得る事を首肯すべし、今日まで開放充分ならざる所以は全く鐵道の開通なかりしに依る、然るに今や此「アマゾン」太平洋鐵道は秘露の最も鑛物に富める地方を貫通し就中「ゴイヤリスキスガ」より「アムボ」に至る地方は石炭、銅、鉛、金、及銀に富むを以て、秘露本部の鑛産物は農産物と相並んで秘露の大富源をなすに至るべし。

第二 墨西哥國の大祭日

墨西哥共和國に於ては國家的大祭日頗る多く、各市町村に於ても其地方々々の祭日を催すが、こは恐くは印度の迷心より胚胎せるものか、然らずんば、かの「スペイン」隆盛當時、教會より臨時祭をなすため或る時期を指定したる頃より傳來せるものならん。

就中最も呼び聲高きは五月及び九月の祭日なりとす。五月五日は千八百六十三年五月五日、ポルフィリオ、ヂアス、及びイグナシオ、サラゴサ、の二將が率ゐし墨西哥軍が「フエブラ」を襲へる佛蘭西軍を打破り大勝利を博せるを紀念せんが爲めの祭日也。

是れ徹頭徹尾武勇の勝利にして、此日を祝するは即ち又墨西哥國民

の武勇の精神と熱情とを喚起する所以に外ならず。

次に九月十五、六の兩日を合して一祭日となせり、此日は元來感情を温めんが爲めの祭日也、蓋し此日は千八百二十一年始めて墨西哥が西班牙の羈絆を脱して獨立するに至りしを祝すれば也。亦不思議にも九月十五日は大統領ポリフィリオヂアス氏の誕生日に當れるを以て、國民歡呼して之を賀する亦宜べなりと謂ふべし

千八百十年に當り、ケレタロは革命結社の中心となり、西班牙の權力に反抗せる二三志士の計畫殆んど熟す。就中有名なるはアルダマ及アレンデにして、二氏は寢食を忘れて私かに國民の不平心を煽動せんと力めたり、不幸にして二氏の名は偉人イダルゴの爲に蔽はるゝと雖當年の危機を顧みばイダルゴと共に忘る可からざる人物たり。

此時に當り露見又は裏切り等の徵候は毫もなく、獨立の宣告を爲す可き日は指定せられき。即十二月八日に始まる「サン、ファン、デ、ラス、ロゴス」の定期市こそ一揆を煽動すへ絶好の機會なれとて用意おさくゝ怠りなし。されど此時秘密集會の事遞信大臣に通信するものありし爲め、政府は夙に企圖を知り、加之當時イダルゴの居りし「グアナフアト」の地方少年軍團の副官も亦政府に告知する所ありたり。ミグエル、イダルゴ及コスタラ氏は元と牧師にして、初めは偶然革命運動に關係せしもの、如くありしも、氏やもと天資英邁、一度獨立の思想を帶ぶるや絶えて倦むこと無く、粉骨碎身之に盡し。一朝、企圖露見せりとの報元首の許に達するや、彼等はイダルゴ氏に諮らんか爲め急ぎ「ドロベス」に赴けり。氏は其決心を語りて曰く「これより直

に取り掛るべし、今や一刻も猶豫すべきに非ず」と、依て直様自由の叫びを擧ぐべしとの意嚮を發布しぬ。茲に於てか附近の労働者及び群民は氏の門に蟻集し此の擧に加はらんと待構へたりき。既にしてイダルゴ氏は豫て用意せる武器を親ら人民に分與し、大音聲に叫んで曰く「諸君起て、獨立を擧げよ」と即刻部下に命じて教會の鐘を打たしめ、依て革命軍を召集したりき。事既に決せり、千八百十年此月此日を手始めに、西班牙遂に墨西哥の獨立を承認するに至る迄、砲煙寸時も絶ゆる事なかりき。イダルゴ氏が教會の鐘を鳴らしたる時刻に就いては、諸説區々なりと雖も、最も有力なる證據に徴すれば、九月十五日の夜と云ふよりも寧ろ十六日の曉に近きが如し。されど此の託宣は九月十五日の夜間に出でたるは論無きを以て、墨士西國民

は此の兩日を祝し、一には其日を紀念し、二にはイダルゴ氏の勞に酬ふんとする也。宜なる哉國人氏を呼んで墨西哥の「ワシントン」と爲すや。

第三 亞米利加に於ける羊業

○北米合衆國 千九百年の統計によるに當時北米の羊毛工業は工業界の第十位に位し、投資されたる資本高二億一千七萬九千七百四十九弗製品の價額二億九千六百九十九萬四千八百八十四弗、(此内衣服の工業は無論之を含まず)、羊毛品の製造所一千二十五個其資本高一億三千二百十六萬八千百十弗製品の價額一億二千三百一十一萬四千三百四十四弗なりしが千九百年以來十年間に於ける増進は實に目覺しき

ものにして、(重に毛絲の製造なり)十年前合衆國の羊の頭數は三千九百八十五萬二千九百六十七頭なりしもの今日は四割三分の増加を成し一千九百十年一月の統計によるに五千七百二十一萬六千頭となり一頭四弗〇八の價と見るときは全價額二億三千三百六十四萬四千弗となる、而して千九百年に於ては羊毛の量二億七千六百五十六萬七千五百八十四ポンド、アンコラ羊及野羊の毛九十六萬一千三百二十八ポンドなりしが、今日にては四億ポンドに達するに至りたり。

○南米 毛を具ふる南米特産動物は、グアナコ、ヤマ、ビクローニヤ、及アルパカの四種にして、グアナコは其さ大英國の赤鹿の如く、「エクアドール」國より以南「フエゴ」岬まで生存し、ヤマは稍少にして秘露「エクアドール」及「ポリビヤ」の山地に棲息す、而して此兩者は單に食物に供

せられ或は運搬用に使役さるゝが其毛質美麗なれば通常アルパカの毛として賣却せらる、

ビクローニアは小動物にしてフアツロー鹿の半位なり、「ポリビヤ」秘露及「エクアドール」國の山地一萬三千尺以上の所に棲息す、殆んど野生にして其毛は赤黄色の奇麗にして且柔なる質を備へ價も亦アルパカの二倍を稱ふ。

アルパカは古「インカス」人に毛を與へたる唯一の動物にして今日と雖も「アンデス」山及太平洋沿岸住民の需用を充たすものなり、此動物は五千尺以上の地に棲息し家畜として之を養ふことを得、其毛は二インチより六インチの長さにして光澤あり品質美なり重に白、黒或は灰色のもの多く稀に褐色のものあり

秘露國アルパカ毛の輸出は四百萬ポンド乃至六百萬ポンドにして毛輸出額の三分の二を占めビクニヤ毛は一萬ポンドに過ぎず、

「エクアドール」及「ボリビヤ」も亦主たるアルパカの産地にして千九百八年智利より輸出されたる數量二十五萬ポンドは「ボリビヤ」より輸送し來りたるものなり

羊毛、今や「アルゼンタイン」「ウルグワイ」及智利國は羊毛の産地として世界に頭角を現はすに至れり、重なる種類の七割半は英國の長毛種二割はメリノ種五分はクリヨ種なり

「アルゼンタイン」國にては千八百四十九年より五十年に一ケ年の剪毛額八百萬キロ千七百六十萬ポンドにして其用途も下等なりしが、年々改良され其後五十年間に三倍に増加し千八百九十九年より千九

百年には一ケ年の剪毛額二億三千九百萬キロ五億二千五百八十萬ポンドに達し實に世界總産額の四分の一を占め其毛質も大に改良されたり

最近の統計によれば千九百八年に於ける頭數は六千七百二十一萬一千七百五十四頭なりと、此數を十二頭並びにて連續するときは實に紐育より桑港の長さに亘る、之れ即亞國をして世界に於ける第二の地位たらしめたるものにして、第一は濠洲の八千三百十萬頭第二は合衆國の五千六百萬頭第四は英國の三百五十萬頭なりとす
千九百八年に於ける亞國の輸出量は三億八千六百十八萬三千六百ポンドなりし、

「マゼラン」海峽の西端に「プンタ、アレナス」と云ふ世界最南の市あり、

此所は元と智利の流刑所なりしが千八百八十年自由港となりてより羊毛工業益々勃興し今は世界に於ける一大中心となりたり、「パタゴニア」本陸及此「チエラ、デル、フエゴ」島は智亞兩國にて分領さるゝも羊毛業は年々一般に擴張され「ブンタ、アレナス」地方のみにて四百萬頭の羊を數ふるに至りたり、

亞國側にて此「マゼラン」海峽地の羊牧は智利程盛大ならず、其原因は亞國領は海峽を離れ海に接近すること困難なると、他の地方に於て盛んに行はるゝ餘地あるが爲なり、即「パタゴニア」地方の「サンタ、クルス」洲に於ては千九百八年より九年に九百萬キロ一千九百八十八萬ポンドを産出したり、

「マゼラン」海峽地方の羊牧の先導者は主に「スコットランド」人及「ウエルス」人なるが其發展力の盛大なるは實に驚く可きものにして、此世界最南端に於て羊群二千萬を驅る蓋し短日月の間ならん

第四 「リオグランデ」より「パナマ」

まで

先年余は紐育のスタウト氏に同伴し、六月三十日より八月五日迄の間、に於て、幸にして七千二百哩の長途の旅行を爲すを得たりき。即ち先づ費府を出て「セント、ルイス」を經由して墨西哥市に至り、轉じて「サリナ、クルース」市に向ひ、同地より太平洋岸に沿ひて航し、遂に「パナマ」に達しぬ、途中數ヶ所の海港を訪ひ、又内地旅行を爲す事再度に及び。斯て「コロロン」より「パナマ」鐵道會社の汽船に搭じ紐育に歸

りぬ。今余は全米協會の熱心なる賛成者たる立場よりして茲に聊か記述するに至りたるが、余の見る所を以てせば、協會の既成の事業並びに將來の事業の價值は到る處に承認され、且我が友愛なる此等「ラテン、アメリカン」民族に於ては、國民舉つて苟くも合衆國と意志の疏通を圖る可き手段は進んで之を助けんとするの意嚮あるを慥めたりき。又予の私かに喜びとする所は、單に協會の目的を助けんが爲めのみならず、亦事業上止むを得ずして吾人の欲せざる國民と交はれる善良なる米人の使命を助けんが爲、出來得る限り屢時と場所に論なく、少額乍ら寄附するを得し事なり。

何人にて予の友アーサー、ルー氏が呼んで以て「異なる米人」と爲す人民の間を初めて旅行せば、其國民上下を通じて鄭重懇勸なるに一驚を喫するならん。其日暮しの日傭すら其挨拶の丁寧なる、我國の歡迎、暇乞等の略式にして不注意極まるに思ひ到りて慚愧に堪へざりき。一日「墨西哥」鐵道工事の建築組を監督せる米人予に語つて曰く「工夫を使用して最良の結果を得んとせば、彼等を威嚇し或は虐待して彼等の反感を買はざるにあり。若し彼等の爲すに任せて干涉せざれば、世に斯程よき労働者は又となかるべし」と。成程彼等の仕事振は比較的悠長なるには相違なきも、氣候の相違を斟酌して判断すれば彼等の仕事は、合衆國に於て愛留蘭人工夫長の監視の下に働く伊太利労働者の名代の勤勉にもオサク、劣れりとも見えず。予等は「ボ、カテペトル」登山の際、偶然墨西哥人は田舎漢と雖も禮讓を解するを發見したりき。余等は此時案内者二名、料理人一名、他

に小使一名を伴ひしが、最初の日點心チヤンク時に料理人は、余等が坐し居たる小河の側に鱈イラッ、茶菓子、チョコレート等風味ある馳走を並べ、自分は退いて他の三人と共に玉蜀黍の煎餅を噛りつつありき。予等は萬事主從の一致協同に依る可き旅行にありて、かく食物に區別を立つるを見るに忍びざりしかば、直ちに小河を渡り予等の食物を分かち與へしに、彼等も心より之を感謝し其中何くれとなく便宜を與へ呉れしを以て予等も大に愉快に感じたりき。我が國人も須らく之に倣ひて、自ら進んで禮を致すの精神を持して墨西哥に入るべし、思ふに全米協會の精神亦之れに出でじ。

墨西哥及び南方諸國の氣候に關して、合衆國に於ては一般に誤解せるが如し、現に予が盛夏の候同地に旅行せんとするの意を洩すや、友人口を描へて曰く『恐ろしき暑さならん』と、然り全線七千三百哩を通じて所謂『恐ろしき暑さ』ならざるは一個所もなかりき。暑さの爲めに不快を感じしは、恰も國境を超えたる後「ヌエボ、ラレド」に達せる時、正午一時間計りの間公會所の客間に於ても華氏百拾度に昇れる時なりき。されど公平に判斷すれば當時の暑氣も曾て予が費府に在りし時八拾九度に昇りし暑さ程不快には感ぜざりき。ヌエボ、ラレドに於て炎熱甚しき時は旱魃の患あれども、如斯は眞に稀なり。又墨西哥臺地附近一帶の砂漠に在りては、七八月の頃も雨屢到りて砂塵を濕す。此邊は實に將來有望の地域にして、若し耕作者にして佛國アトワ風の灌溉法を施せば、多大の産額を得可きや必せり。人若し「モンテレイ」に遊べば、群山四方を取り圍める間にありて、墨

西哥最古の製鐵工場は、轟々の響を發して、全長一萬五千哩の鐵道線路が刻々膨脹せるを充たさんが爲め、盛んに鋼鐵のレールを製造せるを見る可し。かの墨西哥國有鐵道は「ヌエボ、ラレド」より墨西哥市に至る八百哩の間に於て七千呎の高處に達せるが（愈々勾配を昇るに至るや）八十五磅のレールを用ゐ、砂利の敷布亦た堅固無比なり。

墨西哥市に在りては米人宜しく安心して可なり。先づ「セント、ルイス」より「ブルマン」車に搭すれば道程三日、山海の珍味手に取る可く下車すれば必ず我が同胞より盛なる歡迎を受くべし。市内を眺むれば立派なる球戯場を有せる國立俱樂部會館あり、セメントの庭球場あり、さては又未婚者、既婚者何れにも住心地よき靜かなる區域の存

するあり。政府が官權を濫用して剛健なる體育的運動を禁止せりとの噂も偽りなりとて排斥さる。裁決所を覗かば、恐らくは大學出の溶鑛會社主事が各國外交官又は辯護士組合、さては鐵道會社の支配人を相手取り、互に反目して相穿れんとしつゝあるを見ん。更らに彼等青年の孜孜として働く様は實に感心の至り也。曾ては行囊製造業者が腕力に訴へて墨國にて重要なる工業上の時機を取らんと試みし事ありしも、「パナマ」同様に亂暴無頼の徒は漸次地を拂ひ、着實眞摯なる人士之れに代はれり。

大統領デアス氏は就職の初めより勤勉にして且つ自尊心ある米人を獎勵するに、宜しく記念ある此國に於て實業に従事す可きを以てせり。斯て米人は此地に在りては探値の嫌疑を受けず、又政府より重税

を課せらるゝ事もなく、全く公平なる待遇を受くる事を得。我がアレキサンダー、ハミルトン氏は曾て國民としての名譽の失墜を挽回する所ありしが、デアス氏の大藏大臣リマントール氏亦之を踏襲して墨西哥の貨幣制度に及ぼせり。されば米人にして墨西哥の企業に投資するの士は、其金が金融市場に於て甚しき動搖を爲す恐れは決してなかるべし。因に「アメリカ」の紙幣は墨西哥のみならず中央亞米利加全部を通じて金貨と同様に通用するを以て、旅行者は態々厄介なる金貨を携帯するの必要なきなり。

彈性護謨事業は頗る有利なるを以て、米國資本家は益々此の方面に眼を向くるに至れり。現に墨國は千九百八年には一一、六五七、二四五磅の護謨を米國に輸入したりしが、千九百九年には既に一九、六一四八一〇磅の多額に上れり。されど護謨業に投資せんとする士は、須らく寸時に巨利を占むるを期待せず初めは之れに充分の費用を注ぐ可きを念頭に置かざる可からず、又米人は概して鑛山業に非常なる趣味を有し、三十一州の中二十四州に於ては鑛山業行はる。而して千九百七、八年に於ける貴金屬の産高は實に一二四、九五五、一七〇ペソ「ス」の多きに上れり

「チャパス」州は新設の「パン、アメリカン」鐵道之を貫通して「グワテマラ」の國境に走れる地なるが、自然の富源に富む事一頭地を拔けり千九百九年に於ける此地の鐵道事業はその前年に比し六割六分二厘の増加を示し、合衆國及び歐洲よりの輸入額亦七割五分の増加を示せり。鐵路に沿ひてはマホガニー、スペイン、シダー等貴重なる堅

材の森林鬱蒼として繁れども、現今唯一個の鋸木工廠あるのみ。又此地方より墨西哥市の市場に輸送さるゝ家畜も頗る有利なるものとす。千九百九、十年度に於ては八、五〇〇、〇〇〇磅の珈琲輸出されしが、今年度に於ては收穫高四割五分の増加及び培養地の面積に就き一割五分の増加を得可き見込なり。砂糖畑は一「エーカー」に就き二弗乃至三弗の割に賣買せらる。又新たに七、〇〇〇、〇〇〇木の護謨樹を増植し以て其收穫を増さんとせり。此等の木の未だ幼なるを以て現今は其産高勿論小なりと雖も數年を出でずして一五〇、〇〇〇磅餘の増額ある豫定なり。香橙、檸檬、鳳梨の如きも此地の地味に適し、尙ほ同一地に於て一年二回穀類の收穫を見るを得べし。而して千九百十年には穀類の田地六割を増す見込なり。終りに「チャバス」に於ては仕

事は到る處にありて賃銀は低廉なり、未熟の労働者は一日三十八仙乃至六十三仙を受け、少しく熟練なる者は一弗乃至一弗半を得べし。墨國に於て農業に従事せんとする士は宜しく從來開拓せられざりし「チャバス」州に想ひ到る可き也。されど予は曰はんとす、最も策の得たるものは自ら此地に出張して土地を見出だすにあり、本國に在りて世人の風評を耳にし或は投機的の會社に信を措き其計畫に参加するも何の益する所かあらん。從來米人にして山師的の事業に投資して失敗せる者、曲墨西哥人に在りとは決して云ふ可からず、其罪寧ろ表面は尤もらしく而かも其實不埒極る米國の發起人に歸す可きなり。「テワンテペック」國有鐵道は墨西哥灣の「プエルトメキシコ」「コアサコアルコス」より太平洋岸の「サリナ、クルース」に至る「テワンテペ

ツク」の地峽を横斷し、「ベラ、クルース」及び「オアクサカ」の二州を貫通し、「ガムボア」サン、ヘロニモ」に於て「パン、アメリカン」鐵道と連結す。全長百八十八哩、礫岩の砂利を敷き、土産の堅木を枕木とし之れに布くに八十五磅のレールを以てせり。機關車は油を燃料とするが故に線路は常に油を以て濕へり。布哇の砂糖にして費府に至るものは悉く（毎年凡二五〇、〇〇〇噸）此線路に依るを以て運輸頗る困難なり、但シ此鐵道に依れば、紐育より香港に至るの距離は「パナマ」を經由するより一、三三〇哩近く、「ニュー、オルレアンズ」より横濱「ホル、」及び桑港に至るには夫々一、九七〇哩、一、九六〇哩及び一、八六〇哩近しとす。

「プエルト、メキシコ」は七個の鋼鐵の埠頭よりなれる延長一哩の埠頭を有し、附近の倉庫には各個一萬噸の貨物を藏せり。「サリナ、クルトス」に在りては、長さ凡半哩の防波堤左右より出で、二十エーカー餘の水面を擁し、更らに内部に一個の小港を控へ、港の入口九十呎、之れに架するに二個の旋開橋を以てせり、而して外部の海に通ずる口は六〇〇呎ありと云ふ。されど潮流は絶えず陸地の砂土を蠶食する恐れあるを以て、之れに對し絶えず浚泥機を用うる必要あり貨物船は内港の埠頭、大倉庫の傍に碇泊し、電氣仕掛の大扛重機に依り迅速に卸荷するを得「テワンテペツク」鐵道は現今單軌なれども、行く々は廣軌にせんとするの議あり。而して晚香坡、「サリナ、クルース」間の「カナデアン、メキシカン」太平洋汽船新航路は、頗る重要なるを以て、將來此の鐵道をして「パナマ」運河の勁敵とならしむるやも未

だ知る可からず

かのゼームス、ジー、ブレイン氏が紐育より「ブエノス、アイレス」に至る全路程を鐵道に依て聯結せんとする夢想も、比較的短日月にして實現すべしと世人の期待するは決して早計にあらず。墨西哥及び「ガテマラ」間の「スチャテ」川に鐵橋の架せらるゝ曉に於ては、墨西哥市より「ガテマラ」市に向つて通し列車を發するを得べし、何となれば國境「アイトラ」より二十五哩の間は、勾配により照準を變ずるの工事既に完成せるを以てなり。「サルバドル」に於ては一昨年（一九〇九年）四月「ガテマラ」の中心と聯絡する新線を開始するに至りしが、これが爲めに土地を讓與せるものは政府より一キロメートルに就き七千弗を受くる筈なり。

かくて「コスタリカ」鐵道は重要な支線となり、「ニカラグワ」なる「コリント、グラナダ」線も亦必要なるものとならん。既に「パナマ」に於ては「パナマ」市より國境「ダヒド」市に至る二百哩の線路の豫測を終れり。「サン、ブラス」地方の印度人は從來「パナマ」「コロンビア」間の陸上の交通を八方妨礙して横暴を極めしにも係らず、「パナマ」が現在之れに對して平和を標榜せるは興味ある問題にあらずや。尙ほ「エクワドール」なる「グアヤキール、キトウ」鐵道並に「ペルー」及「チリ」の線路も大計畫の一端となるものゝ如し、蓋し既に六十八弗の費用を以てして、「ウスピラタ」越を貫通する新鐵道に依り、優に「バルパライソ」より「ブエノス、アイレス」に至るを得可ければ也。

「サリナ、クルース」より「パナマ」に至るの航路二三ありて何れを撰ぶ

も可なり。又「パン、アメリカン」鐵道に搭じて「ガテマラ」の國境に至り「アヤトラ」に於て「オコス」鐵道に乗換ゆれば一時間にして數哩を隔つる海岸に出づ可く、之に依るも差支へなし。

但し該鐵道四十哩の間は一週僅に一回の發車あるのみなれば、「サリナ、クルース」ヨリ出づるを以て最も安全なりとす、太平洋岸航路汽船の寄港地は「ガテマラ」に於ては「オコス」「チャムペリコ」及び「サンホセ」。「サルバドール」に於ては「アカフトラ」「ラ、リベルタード」及び「ラ、ウニオン」。「ホンドラス」に於ては「アマバラ」。「ニカラグワ」に於ては「コグロント」及び「サン、フワン、デル、サル」とす。凡て此等の港に於ては貨物を卸し或は積む間上陸するを得べく、二三の港に於ては汽車に搭じて内地數哩を見物して而かも優に拔錨以前に歸着するを得べし。前記

の「サン、ホーセ」より上陸すれば汽車便にて愉快に「ガテマラ」を横斷し、風光明媚なる首都を見るを得べく、而して「プント、アレーナス」より地を通過し、容易に「リモン」港に達するを得べし。又「カリビアン」諸港より熱帶海上往復の汽船に搭すれば速かに、「ニュー、オルレアンス」紐育或は「パナマ」に着するを得べし。

「ガテマラ」ハ最上の珈琲を産出する事一年七〇、〇〇〇、〇〇〇磅に及び、其中六〇、〇〇〇、〇〇〇磅は主として獨逸及び英國に輸出さる。「ケサルテナンゴ」附近の工場は、二百五十人の職工を使用し、二、五〇〇、〇〇〇磅の原料を費消して盛んに綿布を製造しつゝあり。鐵道全長四八〇哩「サン、ホーセ」「プエルト、バリオス」間の航路一九五哩なり。此地の輸出物を受くる最も多きは獨逸にして全體の六割を占め、合

衆國之に亞きて二割五分、英國は第三位に在りて一割一分なり。輸入物は合衆國最大額を占め、獨逸、英國之に亞く。

「サルバードル」は他の中央亞米利加諸國と異なり、大西洋に直接の出口を有せざるも、人口の稠密せる事亞米利加共和国中第一に位し、一平方哩に就き一二三六人を有せり、即之を合衆國に比すれば平均十倍に當れり、主要なる農産物は珈琲にして、千九百八年の輸出高三七、五〇〇噸、其價五、〇〇〇、〇〇〇弗に及べり。其他堅木の森及び鑛層等は莫大の價値あり。

「ホンドラス」は其運輸機關の發達に伴ひ將來世界第一の富國たるべき運命を有せり。珈琲、棉花、砂糖、黍、煙草、加々阿は豊饒なる低地の地味に適し、高地に在りては家畜の牧養盛なり。尙「ホンヂユラス」には貴重なるマホガニの森林並びにバナナ、及びサール、サバリラの大栽培地ありて、後者は既に多量合衆國に輸出せり。

「ニカラグワ」の森林には四十餘種の樹木ありて之より油及び藥材の原料を採取するを得べし。千九百六年には約一〇、〇〇〇噸の珈琲及び一、四〇〇、〇〇〇朶のバナナ、を輸出せり。又千九百七年の砂糖産高は、その副産物を合して一、一〇〇、〇〇〇弗と算せらる。

「コスタリカ」は其國繁華にして衣食足り、往々地震の患あるも之に屈せず盛に業を営みつゝあり。氣候温和宛も他國の高地に在るが如し。珈琲は最もよく此地に適し、最良なるものは四千呎乃至五千呎の地に生ず、「モチャ」及び「チャバ」の珈琲も恐らく之れに勝る事なかるべし。政事家年鑑の如き眞摯なる書に於ても「此地に在りては凡ての物

生長するを得と云へるに非ずや。千九百八年にはバナ、の輸出額五、〇〇〇、〇〇〇弗に上り、珈琲の收穫二、二〇〇、〇〇〇弗に上れり。護謨業、家畜の飼養も有利にして、眞珠貝、及び鼈甲の如きも輸出物に數へらる。

予は曾て千九百六年の歳末に際し「パナマ」に赴きしが、三年六ヶ月を経て再び其地を訪ひ、其短日月間の變遷を見るに及んで欣喜措く能はざりき。同地に於て先づ注目を牽くは、軍吏と人民との仲極めて善き事之也。人あり曾て曰く『軍吏の此地に来るや吾人は私かに危惧の念を抱きて前途を悲觀し、相提携して事を共にせんとは夢にも思はざりき、しかも何ぞ知らん彼等は善人の善人にして毫も其權を楯に着ず、上官として部下の心を得るに最も公明正大なる者ならんとは

試みに近く「クレブラ」の堀り割に掛け渡せる吊橋の上に立ちて四顧せば、蒸氣シヨベルの力に依り、一時に三乃至五立方ヤードの地を掘り出して、地殻の表面に斯かる、尨大なる裂罅を作り上げたる之れ果して人力かと疑はる、計りなり。新たに起れる地崩れの如き、全體の大に比すれば實に蒼海の一票に過ぎず。勿論地崩れも重大なる注意を呼び、附近の家屋は破壊さるゝと雖も、敢て事々しく新聞に記載する程のものとも思はれざるなり。

予は千九百七年の正月「ガツン」に於て一個七十噸のシヨベルを使用して水門の開鑿に従事せるを見しが、其狀宛がらピラミッドの建築を再び此世に現はしたるかと恠まれき。しかも三年を経て再遊すれば、當時の椽欄葺きの村は失せ、一望廣漠たる湖水之に代はり、「チャグ

子ス」の濁流滔々として堤外に逸走するを見る。一木石を積んで高さ百呎長さ千呎の高臺をなすの計畫竣工せば、水門内に入れんが爲めに作りし大排水溝の入口をも覗ふを得べし。かのシベルト大佐が大堤防の竣工期に關して豫言せるは偶然にあらず、即ち千九百十五年に至らばオリムピツク號の如き大船が星條旗を翻して「パナマ」運河を渡る可きを豫想する決して難からざる也。嗚呼此の昭代に當り此の地峽を渡り、幸福、健全且つ勤勉なる國民に接し、而して日一日と完成しつゝある大事業を眼前に見るに及んでは、今更ら我が國を信ずるの念深きを加へ、且つ米人たるを自負し感謝せざる能はず。(米人)

第五 五十年前「キブソン」氏の

南米横斷

キブソン氏は昨年一月十日、「ペンシルバニア」洲の自宅に於て逝けり享年實に八十九歳の高齢なり、氏は今より殆んど五十年前南米を横斷し當時已に「マデイラ」河の瀑布間に鐵道布設の必要を感じたる有名なる海軍大尉なり、當時横斷の模様を記さんに彼れは千八百三十七年十二月年齢僅かに十七歳四ヶ月にして士官候補生となり西印度艦隊に編入せられたり、以來千八百五十一年二月頃には大尉ヘルンドンドの下に南米に特別の任務を盡し千八百五十一年十二月丁度「ボリビヤ」國「ラ、パス」より「オルロ」に至る途中大尉に昇進し千八百五十七年五月職を辭したり、

千八百五十年「アマゾン」の谿谷を探検すべき命令ヘルンドン大尉に傳へられギブソンは副官として遠征に加はる事を命ぜられたり當時キブソンは海軍監視臺の勤務中にて本國にありしが、千八百五十年四月命令を持して秘露里馬に於けるヘルンドン大尉の下に達したり、此遠征は單に「アマゾン」谿谷の探検と云ふに過ぎざれども、其命令の内容は浩瀚のものにして谿谷の現状及航行力のみならず、住民の數狀態工業商業及産業氣候土地の肥瘠産物より耕作の能否及原野森林河川鑛區等交通の源泉となるものの範圍廣狹等を探検すべき事を以てし、猶更に秘露及「ポリビヤ」國の移住民誘致法は如何なる者なるか、此兩國の人民の數及性質は如何、其産物は通商を開くに足るや否や、如何なる産物あるや工業品は如何にして輸入すべきが、生

産額は如何「アマゾン」谷の種々の氣候に従て定まりたる産物は如何なるものなるか、耕作の狀態は如何、労働者の階級は如何、一日の労働力如何、各種産物の一人一エーカーの出來高如何、例へばマテ、コカ、ココア砂糖、米、チンコナ、大麻、綿、印度、ゴム、珈琲、バルサム、藥料、香料、染料及裝飾用の木材等、下種收及穫の季節、原産地に於ける價額、重要な商業市場、運輸の方法等、其他苟も商業者の利益を計る種々の條項を研究すべき事を以てせられたり、而して此若き二人の青年士官は料理人奴僕案内者及通辯人を雇入るる費用として五千弗を給與せられたり、之を以て合衆國より猶廣大なる地方一萬五千哩を旅行して全國の統計を取らざるべからず、此の如き困難なる事業はスタンレイと雖も無限の費用と夥多の人員を

給與せらるゝとも恐らくは拒絶したりしなる可し。

ヘルンドン大尉は秘露より「アンデス」山を超へて「アマゾン」河床に出づるに三路ありとし、一は「ワヌコ」の谷、一は「チャンチャマヨ」の谷、一は「パウカタムボ」の谷とし南方の二者を選び秘露の首府「リマ」より百五十哩東北にある「タルマ」より分れギブソン氏と各々別路を取ることにせり、千八百五十一年七月九日「ギブソン」は萬般の用意を備へ同國人「リチャード」秘露人一及人案内者を率ひ大尉より與へられたる千五百弗の旅費を以て「タルマ」を出發せり。

八月二十三日「クスコ」に到着せり、進んで「マードレ、デ、デオス」河地方に入らんとす、蓋し氏は同河を「プルス」河と思ひ居たるものなり、此時「リチャド」病み一行に加は、能はず「ギブソン」更に二十五人の土人を雇

ひたるも野蠻なる「チコンチヨ」族を恐れて逃げ去る、ギブソン驚かず猶旅行を續けたるが幸にも米國生れの「リーチラ」なる者に合ひたり、
「リーチラ」は早くより秘露の幾那皮採集に來りたるものにして國語を忘るゝ程早やく來たりしものなれば、氏を案内として「マードレ、デ、デオス」河まで下り河の航すべからざること及「プルス」河と同一ならざること、其他「アマゾン」河源として該河の組織關係等逐一研究して引き返したり、

十月廿五日「クスコ」に歸りたり、此時已に「リチャード」の病全癒したれば一行に加はり、一行は三日の後「クスコ」を去り「チ、カ、」湖畔の「プノ」に向ひ、

十一月十日「プノ」に着す、三日滞在之より「チ、カ、」湖を廻りて「ラ、パ

ス」に向ひ、

十一月廿七日「ラ、パス」に着す、之より「オルロ」の方向を取り十二月六日「オルロ」の北を過ぎ、

十二月十日「コチャバムバ」に達す、此所に於て氏は數ヶ月を費かし又商工業に關する調査をなす、此時丁度「ボリビア」の大統領旅行の途中「コチャバムバ」に入り來りたれば氏は大に其饗應に預りたり

千八百五十二年「コチャバムバ」を去り「アンデス」の東坂を下り「マモレー」「マデーラ」及「アマゾン」河の方向に進み「ビンチュタ」に於て秘露人去り「リチアイド」と唯一人となる、此所にて知事の厚意にて長四十分尺廣四尺のボートを買ひ印度人十人を雇ひ入る、

五月廿五日「コニ、クリーク」河に入る川巾三百尺深十二尺、夜に入りて

河岸に陣す、

五月廿九日「チモレー」河を下り「マモレー」河に入る川巾一千二百尺深三十尺なり、

六月一日「マヨ」河の「ドリニタツド」市に着す、人口三千人、三ヶ月滞在して報告の材料を集む、「トリニタツド」にて土人皆去る、「ブラジル」の一商人河を上り、丁度歸らんとするに會ふ、此商人に導かれ共に「エクサルタシヨン」に至る、此所にて舟及印度人を雇入る、此印度人は更に進んで伯刺西の「イテチス」河畔の「フォルテ、ド、プリンシペ、ダ、ベイラ」まで來り進んで「マツト、グロツソ」まで至るも苦しからざるを以てす。九月五日「イテチス」に着す、川巾四百ヤードより六百ヤード深六尺より三十尺、良く繁茂したる地方を貫流す、此所にて「マデーラ」を航

するに足る程の舟を買ふ。

九月廿日「マモレー」河の第一の早瀬に來た、荷物を揚げ舟は岩の上を三十ヤード引き、次の日又瀑布に會ひ又舟を引き上ぐ、之れ所謂「バナペイラ」の瀑布にして二十尺あり、瀑の下は半哩深さ七十尺急瀬なり、九月廿二日他の早瀬に至る十六尺の瀑布あり、「ベニ」河口を過ぐれば「マデイラ」河となる、「マデイラ」河の第一の瀑布は「ベニ」河に接近し河の中七百ヤード深百五尺、此日「ミセリコルヂヤ」の早瀬を過ぐ、荷物は陸上げし舟は兩端に繩を付け岸近く引き流す、次の日他の早瀬を過ぐ、二十六日は快走したるが廿七日「トレス、イルマンズ」と云ふ早瀬に來る、廿九日三十日共に早瀬を過ぎ十月一日「レオトニー」瀑布に來る、高さ十六尺なり、此所にてギブソン、ピリアス熱病に罹る、リ

「チャード」は同病より恢復しつゝありたり、十月二日「サン、アントニオ」に着す、之より「マデイラ」河まで五百哩なり、

十月六日「ロスセニア、ド、クラト」に上陸す、此所は當時「マデイラ」河に於ける伯刺西の國境たりし所なり、此所より「イテ子ス」河に至る間は密叢したる森林にして野蠻印度人のみ生息す、河の大半は早瀬と瀑布にして各々二三哩づゝ陸路を運搬せざる可からず

十月廿一日一行は「アマゾン」河に達す、是に於て目的の探檢は終りたり、

此旅行の危険なりしは以上の如く一朝一夕に記述すべきものにあらず、ギブソンは能く其目的を達したりと云ふべく、氏始めて「マデイラ」及「マモレー」河間鐵道布設の必要を説きたるは其達觀驚く可きもの

あり、今日伯刺西及「ボリビヤ」兩政府此鐵道を計畫し將に成らんとするもの蓋し偶然ならざるを知るに足らん。

第六 「アルヘンチナ」百年祭の盛況

昨年「ブエノス、アイレス」に於ては「アルヘンチナ」獨立百週年を祝はんとて盛大なる祭日を舉行せり、時は維れ陽春五月下旬。

「ブエノス、アイレス」は風光明媚なる都市にして、規模の壯、市街の美、歐洲諸大都を眼前に髣髴せしむるもの、

人若し「アルヘンチナ」に遊ば、從來同國に於て爲されたる事業の跡に驚き、尙ほ將來發展の望みあるを見ては更に一驚を喫するならん、されど此祭日や即過去と未來とを繋ぐ鐵鎖にして此盛典に逢へるも

のは過去を以て將來を推すに躊躇せざるべし。吾人茲に當國從來の歴史を通觀し、以て此壯觀を呈せる所以のものを説かんとす。

「アルヘンチナ」は過去一世紀に於て大なる發展を遂げ、當初に於て殆ど其存在を知られざりしもの、今や一躍して世界有數の産業國となれり。當國は由來「スペイン」に隸屬せしも銳意舊世界の羈絆を脱せんと試み、之が爲め敢て戦をも辭せざりしもの、これ其獨立政府を組織するの價值十分なるを示して餘りあり。

想ひ起す、今より百年前即西歷一千八百十年、南米諸國は夙に自由を叫び同年遂に其効果を收め得たれば各共和諸國は各自其百週年の紀念祭を舉行なるに至りたるものなり、就中その盛大なると熱心なるとは「アルヘンチナ」に若くものなく、實に千八百十年五月廿五日は有

名なる革命黨のフンタ任命せられ、行動を開始せるの日なるを以て、政府が百年後の今日をトして大祭日を舉行する蓋し偶然ならざるなり、

千九百十年五月廿五日は南米の歴史に一新紀元を劃せるものにして宛も北米に於ける千八百七十六年七月四日と其趣を同うせり、而して兩米の獨立以後其物質的文明の進歩實に偉大なるものあり、一世紀の昔に在りては「リオ、デ、ラ、プラタ」河口に達するには容易の事にあらず北米よりするも七十日以上に及ぶことありき。固より新舊兩大陸間電信の敷設あるなく、信書の如きも多くの時日を費して併かも安全ならず、陸路の交通亦不便にして、交通機關として單に牛馬及び驛馬車の類ありしのみ。

然るに今日に在りては其の進歩著しく、既に南米の一隅に蟄居するものにあらずして世界の一部分となり、海底電線は通じ、歐洲は云ふに及ばず世界到る處と通信を交換するに至れり、殊に最新式の汽船は「ブエノス、アイレス」と歐米各港の間とを航行し、運輸機關の發達眞に驚く可きものあり、

獨立百年後「アルヘンチナ」は二個の喜ぶ可き現象を得たり、第一に其國家が文明人士の尊敬と賞賛とを博するに足るの位置に達したる事、第二に國內に於ける農産物の増額及び其運輸機關の發達はなり、故を以て、本國が首府にして且商業中心地たる「ブエノス、アイレス」に於て獨立一百年祭を紀念するは實に其當を得たりと云ふべし、宜なり「ラテン、アメリカ」の諸國は言ふに及ばず、合衆國、歐洲、日本に至

るまで快く其招待に應じ、各々代表者を派して此祝祭に参加せしめ、衷心此壯舉の成切を祈れることや、斯て本國は此祝典に當り克く二個の方面を閑却することなかりき、即一面に於て國民の感情と記憶に百年祭を明瞭に印象せしむると同時に、他面に於て内外博覽會に依り技術、工業、商業等の發展を物質的に表示することは是なり、此百年祭や實に一種の天啓にして壯觀無比なりき。觀覽物の如き啻に美なりと云ふに止まらず、更に最近の學理と機械とを應用せり。又晚餐會、招待會及び祭典の如き其形式固より近代的なりと雖も此舉の精神たる父祖傳來のもの、今に至つて神來の感興に接し、躍如として旭日東天の慨あり、

「ブエノスアイレス」は立錐の地なく寄せては返す人波日夜市街は溢

れたり。殊に「アベニダ、マヨ」は平日に於ても雜鬧を極むるの地として今や綠門、旗影、電氣裝飾交叉して全く裝飾の巷と化せり、「フロリダ」街は通路狹隘なるも流行の中心地として旅館、商店、俱樂部簷を列ね、國旗の影翳々たり、噴泉は到る處水を吐き、銅像は何れも花を以て飾られ、公共の建築物は悉く紅白の布を引渡せり、此他公園居住地の如きは悉く裝飾を施し國民の熱狂實に言語に絶せり、

祭日は數日に亘り、國家の祝典は實に一ヶ月の長きに及べり。世界各國の士は此地に來り、時に國際的會合を催して文學、科學、經濟問題の討議に委し、斯くして市は絶えず各國の來賓を款待して至らざる所なかりき、

殊に「チレ」士官學生徒一團を招待せる、サーバドラ、ペンナ、カス

テレ、ラレア、アルベルチ等の如き南米諸英雄の記念碑を建立せる、サンマルチンの祝典を舉行せる、及び一大公園の設置、紀念樹の植立の如きは特筆の價值あり、

此他永久に紀念す可き事項を擧ぐれば、先づ「スペイン」の皇女イサベラ殿下が「スペイン」を代表して當國に御來臨ありしこと之れなり、五月十八日、殿下が「ブエノス、アイレス」港に到着せらるゝや、軍隊的禮式を以て之を歓迎し、國民恐懼一意母國に對する熱誠に缺くる處なからんことを務めぬ、

次に大統領を初め各國外交官及び來賓の觀艦式之なり、時は宛も五月二十一日にして「ラ、プラタ」河口は振古未曾有の光景を呈せり、四方より集り來る軍艦實に四十七艘、中に就いて二十八艘は本國の有

にして他は合衆國、獨逸、佛蘭西、伊太利、葡萄牙、和蘭、奧太利、西班牙、ウルグアイ、智利及び日本の有なり。而して之を擁する商船、蒸氣船及び其他の船舶、其數幾千なるを知らず、之に搭する者は居ながらにして世界最新式の諸艦を見るの榮を得たりき

第三には智利大統領モント博士の來訪之なり、博士は近く完成せられたる「アンデス」山鐵道に依りて當國に入り、國境に於て政府諸員の出向を受け、五月廿三日國都に達するや改めて盛大なる歡迎に接したりき。初め氏が停車場に達するや本國大統領は閣員一同を率ゐて之を迎へ、次いで氏は馬車に投じ、陸軍々人を筆頭に、兩國海軍の派遣員、兩國士官學校生徒に擁せられ肅々として政府官邸に入れり。茲に於て初めて正式の歡迎會を開き當國大統領アルコルタ氏ハ智利大

統領以下隨員一同に對し盛大なる晩餐會を催せり、氏の來訪は百年祭に光榮を與ふること實に大なりといふべし。

次に最も興味あり且つ國民の感情を披瀝するに力ありしは同月二十九日「ブラサ、デ、マヨ」に於て開かれたる公民大會なり、之れ五月上旬に當り、政府が公書を發して、本國人民は官吏たると平民たるとを問はず苟くも忠誠を顯はさんとせば會合すべしと命令せる結果にして、其結果や實に豫期以上なりき、數萬に餘る群集は此の機を外す勿れと潮の如く押し寄せぬ、茲に於てか消防夫、商人、兵士、水夫、學生は各團體組みて行列を作り、市中の要所限なく練り歩きたる後、暫く大統領官邸の前に止まるや、大統領は露臺の上に其全身を現はし之れを歓迎せしも、遂に其熱誠にや感じけん、自ら行列の先驅となり數

丁の間之を率ゐぬ。次いで氏は音吐朗々たる一場の演説を試み、懇々として「アルヘンチナ」獨立の由來を説き聲涙共に下るや群集慘として一語なし、演説終るや大統領の發聲に依り國歌を三唱し、首尾よく解散せり。

大祭日の前後に當りては、晩餐會、招待會、演劇の如きは夜として催されざるなく、其他爆竹、午餐會、演武會の如き絶えず行はれて寧日なかりき。

五月廿五日は即獨立一百年祭の日にして其盛大なる振古未曾有なり此日には尙海陸軍の演習をも行ひ、遺憾なく其國風を發揮せり。群集は擧つて此祭典の恩澤に浴し、只管其の名に添はんことを務め、世紀眞に新たなるの感あり、大統領は得意の雄辯を振つて國民の熱誠に

訴へ、其光景の壯言語に絶せり、先づ大統領に並んで智利大統領モン
ト氏、西班牙内親王イサベラ殿下及び歐米各國の大使着席するや人
民拍手喝采して之を迎ふ、既にして會終るや賓客一同は「テ、デウム」
即感謝祭に列席せり、

次ぎに陸海軍觀兵式の光景亦頗る盛大にして觀者實に五十萬と註せ
らる。各國々旗は翩々として春風に翻り宛も盛典を祝するが如し、宜
なり歐洲、兩米は云ふを俟たず亞細亞に至るも其代表者を派せるこ
や、遠く望めば兩大統領、内親王殿下はカサ、ロサダの露臺に坐し、側
には合衆國レオナード、ウット將軍夫妻、獨國フォン、デル、ゴリツ將軍
夫妻其他各國大使及び高等官雲の如く並べり、市街には一團の行列
長蛇の蜿蜒たるが如く合衆國巡洋艦チニスターの水夫之れが先導と

なり、其步調の正しきと姿勢の美なるとは特に人目を惹き、之に次で
は智利海軍士官候補生、水夫、獨逸軍艦乗組員及伊太利、西班牙、佛蘭
西、澳大利、和蘭、ウルグアイ、葡萄牙及日本の戰鬪艦乗組員等何れも
隊伍堂々としてプラサ、デ、マヨを通過せり、其光景實に繪も及ばず
米人の態度堂々たりとせば日人の活氣満々たるあり、獨人の步調的
確なるを賞し得べくんは佛人の隊伍靜肅なるを欽すべし、何れもそ
の平素の訓練の程羨望に堪へず、斯て最後に「アルヘンチナ」の水兵等
悠々として繰出すや、國民聲を描へて *Viva la patria* を唱へ、天地も
爲ために動搖せり、

國都の光景上の如く、其他國內至る所之に劣らず祭日を祝ひ以て獨
立一百年を紀念せり、

次に看過す可からざるは物質的方面にして、本國は獨立後百年間の進歩を分ちて五門とし、以て之を一般の觀覽に供せり。曰く一、衛生

二、技術三、實業四、農業五、運輸之なり
衛生展覽會は國民健康の基本を示すものにして、其目的たるもと當國の人民をして現代の醫藥及び技術の進歩が國民の建康及幸福に寄與すること如何に多きかを悟らしめんとするにあり、かるか故に其展覽品は廣く内外の製藥室及び技術室より齎せり、

技術陳列會は主としてラテン民族特有のものにして、其出品物は如何に地方的なるものも優大にして世界的なるは被ふ可からず。此陳列會や本國の學生は云ふに及ばず一般技藝家に取りて見るに足るの價值充分ありき、

實業陳列會は最も「アルヘンチナ」の特色を發揮せるものにして、其目的たる過去一世紀に於て原料精製の方面に長足の進歩を爲したるを内外人に示し且つ青年か大に實業界に驥足を伸す可きを獎勵するにあり、

農業陳列會は當初より其規模最も大にして従つて陳列品の如き世界各國より齎せり、依て會衆よりは特別委員としてアーネスト、エーチ、ワントツ氏派遣せられ、合衆國陳列品の監督を命ぜられき、而して合衆國陳列會場のみにて六〇、〇〇〇平方呎の地面を要したりと以て其大を察す可し。之に陳列せられたるものは實に農業の各科を網羅し、當國の耕作法を研究せんとする他國人士にも、又他國の勝れたる農具を見んとする當國人にも交互の便宜あるや疑なし、農事陳

列會の一部として生畜鑑賞會あり、有名なるルーラル協會之を司どり好結果を得たりき

鐵道運輸陳列會は亦以て本國の進歩を示せるものなり、由來當國が原始的驛馬車を變じて最新式急行列車及び電車を採用するに至る過渡の迅速なりしこと他に類例を見ざる所なるが列車の種類は悉く陳列せられ運輸機關の附屬品は一として遺漏せるなし、

以上は吾人が百年祭を觀覽して得たる所の一部のみ、讀者之を諒とせよ、幸にして吾人が百年祭より得たる教訓は決して僅少にあらず、而して當國も一層締盟諸國と親善を加へ殊に「ボエノス、アイレス」得たる利益の大なるは云はずして明なり、

(終)

國勢

第一「アルヘンチナ」共和國

○外國貿易

次表は千九百十年の最初三ヶ月間に於ける外國貿易の主なるものを示せり、單位は凡て弗とす。

國	輸入	輸出
合衆國	一一、七七三、〇六〇	八、二二八、二七二
英吉利	二六、二九九、一七八	一八、三八〇、七〇八
獨逸	一六、〇八九、五五四	一四、〇六五、八二八
佛蘭西	八、四七四、一〇五	一五、一九三、三三八
白耳義	四、六五七、七七二	九、八二八、六六七
伊太利	七、三三九、一一四	二、五一四、九四六

ブラジル	一、二、二九七、一四九	四、四九四、一七七
西班牙	二、五九七、六九一	五、九九一、一一六
和蘭	六〇〇、〇九二	九〇七、〇九七
奥地利匈牙利	八四九、七六三	六、一四、四六一
瑞 西	七九四、二五六
其他の諸國	三、九〇八、二三一	四、六八一、八一七
Fororders	三、一、六二二、三七九
總 計	八五、六七九、九六五	一一、一、一三一、八〇六

前記の價額は合衆國の通貨に依りて示せり、今最初の三國よりの輸入の増加率を示せば、獨逸は四割一分四厘、合衆國は三割五分七厘、英吉利一割四分に當れり。又三國よりの輸入の歩合は全輸入に比して

英吉利は三割七分五厘、獨逸は一割八分八厘、合衆國は一割二分七厘に當れり、

千九百九年及び千九百十年の最初の七ヶ月間に「アルヘンチナ」より他國に輸出せる主要なる物産次の如し、

	千九百九年	千九百十年
乾牛皮	枚數 一、二三四、二八一	一、五三六、八三九
鹹牛皮	同上 一、一三一、六六八	一、二七七、六二六
乾馬皮	同上 七一、六五七	八三、八四九
鹹馬皮	同上 八、三七〇	一一、八三五
鹿 皮	包數 三六、〇八二	四二、四〇四
山羊皮	同上 三、九六一	二、一一一

羊毛	同上	二九〇、七八一	二三二、五五二
小麥	噸數	二、四〇九、二三二	一、三六三、二二四
玉蜀黍	同上	一、二七九、六〇五	七一九、七九五
亞麻仁	同上	七七七、六二四	五三〇、三六六
燕麥	同上	四二九、七〇三	二七〇、九九六
ケブラチヨ	同上	一五四、二三九	二四三、二六八
同上精製物	同上	三四、三二三	三六、五〇一
乾草	包數	三〇〇、八〇七	四五七、〇〇三
バタ	箱數	八〇、六六五	八〇、〇七五
凍肉	クォーター	八五一、九三九	七六一、八九二
冷肉		五七三、二二八	八〇四、七八四

氷詰の羊	正數	一、五二〇、九五四	一、五二〇、九五四
氷詰の小羊	同上	二九三、六六三	二一四、二五六

○豫算

千九百十一年の豫算は既に議會に送られ、之に伴ひて大統領の報告も發せられき、之に依れば千九百九年に於ける歳出は二九九、七五八、四一六弗に上り、同年の歳入は二七四、四二〇、〇四七、弗に上れり、而れども公債證書の發賣等に依り多少の増額ありて全額三〇七、二三、五、三三七弗に上る、本年の上半期に於ける歳入は豫算を超過する事凡そ三〇、〇〇〇、〇〇〇弗に及べり。國內の負債は千九百九年末に於て紙幣一一五、二四五、三〇〇弗、金貨八七、四八三、九〇〇弗にして、國債は金貨三二一、五一三、八二九弗に及べり。而して商業の利得

は著しく増加し、一般の景氣頗る良好なりと傳へらる、豫算の額面は今年度のものと變りなし、蓋し現政府は十月十二日を以て解散す可き筈なるを以て、敢て額面を變化するを好まざりし也、尙ほ俸給に就きては政府は從來の儘になさんとするの意あるを特筆せるは、この問題に關する法案が目下議會に於て研究中なるを豫想せしが故なり。

○農業保護策

下院議員にして農業保護會の事業(主として蝗イナゴの撲滅)の調査を任命されたる委員は保護會は充分其職を遂行せりとの報告をなせり、されど委員は此制度の効果を實に多く擧げんが爲め、農業保護會は從來の如く獨立の團體とせずして農務省の下に従屬すべしとの議を

此報告に添へて呈出せり、

茲に於てか調査委員は新條例の草稿を送り、以て法律に制定せられんことを請願せり、「ブエノス、アイレス」の「スタンダード」は其紙上に於て、此條例中比較的重要なるものを簡明に記載せり、即之を抄録すれば

調査委員は千九百十一年度に對する保護會の豫定費用を豫算の中に繰込む様行政官に請願すべしと建議せり、

今虫害を受くる土地を區別して次の三項とするを得べし、

一、農作地、二、牧場地、三、無所有地之れなり。(一)、(二)の所有者及び小作人は蝗或は其害を發見したる時は二十四時間以内之を同會に通知すべし、而して地主は五十ヘクタール毎に、小作人は五百

ヘクタール毎に、一人の人夫を雇ひて蝗を撲殺すべし、無所有地に在りては同會の費用を以て之を爲すべし、鐵道會社も同様の揭示を爲し、侵害地一キロメートル毎に三人の人夫を雇ふ可し、但し百キロメートルに就き一百人を起ゆ可からず、公道の蝗は地方長官又は政府之を撲滅すべし、

亞鉛板は希望の者に之を供給し、長さ一メートル毎に二仙を徴收す、但し場合に依り無賃にて供給することあり、
 行政官は蝗及び其卵の買上に關し規定する所あるべし、
 前記の義務を履行せざる者及び亞鉛板を他の用途に當てたる者は罰金に處す、

此等の追加費に對する資金は、捕蟲袋一個に一仙の税を課し又法律の課する統計税四、九三三弗に一厘の歩合の増加をなし、更らに亞鉛板の貸賃及び料料よりして作るを得べし、

行政官は隣國と商議して害虫驅除の爲め益々行動を一にせん事を圖るべし、

經濟的方法に依り、危険の恐れなく且つ政府に何等の負擔を及ぼす事なくして(實驗、證明の費用以外に)充分効果を擧ぐべき蝗虫驅除法を發見し又は發明したるものには、一〇〇〇、〇〇〇金(アルヘンチナ)の賞を與ふべし、

○千九百十年に於ける「ブエノス、アイレス」市の人口

「ブエノス、アイレス」市の統計を讀まば得る所多かるべく、殊に市の發展を示せる數字は最も興味あり、即千九百九年六月三十日の人口は

一、二〇、四、〇〇七にして、千九百十年の同月同日に於ける人口は一、二七〇、二三四なり。

暫く眼を轉じて世界各國を見、百萬以上の人口を有する都市の如何かに少きかを思ふ時は、此數字は實に深長なる意味を有し、人口、富文化の點に於て「ブエノス、アイレス」は世界大都市の上位に在り、此他「ロサリオ」は其人口二十萬に垂んとし、「ラプラタ」は凡そ十萬の人口を有せり。

○亞鉛板二〇、〇〇〇、〇〇〇米の入札

北米駐在「アルヘンチナ」公使は本國政府より九月十四日發の海底電信を受け取れり。曰く農務省直轄の農業保護會は蝗虫の侵入を防ぐべき障壁として、二〇、〇〇〇、〇〇〇米の亞鉛板の入札を許可すべ

き委任を受けたりと、かくて亞鉛板製造の入札は九月二十日を以て終結せしが入札者は保證金として入札價額の一分を差出すべく、此保證金は契約履行の保證として更に一割に増加せらるると云ふ

○「アルヘンチナ」に於ける葡萄酒及び砂糖製造業

葡萄酒製造業は當國にて最も有望にして且つ盛んなる工業なり、その製造高は過去二十年に於て著しく増加し其質亦進歩せり、葡萄酒製造會社の數三、四〇九にして、資本金總額葡萄園の價を除外して二七、七五八、八六六弗なり、又葡萄酒の産出一年二八〇、〇〇〇、〇〇〇、リートルにして其價二一五、四七六、〇〇〇弗に上れり、此他二、〇〇〇、〇〇〇リートルの酒精産出され、其價二八一、四五八弗なり。不斷に之れが製造に従事するもの九、六三五人にして、製造期に在りては三

六、〇〇〇人を使用す。

次に當國に於ける砂糖製造場の數は五十七にて資本金三二、五九四八八弗に達す、而して一年の賣上高一九、八四一、八五三弗にして之れに要する原料七、八二〇、九〇七弗なりとす。製造場を使用する雇人八、〇三五人にして、甘蔗栽培の雇人三三三、二五六人なり。

第二 「ボリビア」

○銀行資本の増加

「ボリビヤ」國立銀行の取締役は其資本金を英貨一、〇〇〇、〇〇〇磅に増加するに決定し、既に巴理銀行家と交渉を開始せり、商業銀行及び農業銀行も各、其資本を英貨一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、磅に増加せんと提議せり、

○銀行手形の發行

「ボリビヤ」國立銀行は、大藏大臣より、十ボリビアノスの銀行手形三〇〇、〇〇〇枚を發行するの許可を得たり、

第三 「ブラジル」

○「ペルナンブコ」に於ける炭層の發見

「ブラジル」評論は八月十六日の紙上に於て、近く發見されたる「ペルナンブコ」の炭區に關して述べて曰く、

該炭區は眞の炭帶にして毫も遺漏する所なし、此地は海拔三百米にして「パウロ、アホンソ」鐵道の終點「ハタバ」を去る二十基米に當り其面積約十八平方リীগなり、最初の炭脈は地下二十米の處に

発見され、硫化物を抱含したりき、此炭脈中の堆積物を検するに、此石炭は歐羅巴に於て発見されたる「カルム」系統のものと同時代のものなる事明かなり、之を分拆するに、「カルジフ」炭の如く佳良なりと云ふにはあらざるも其質の美なるは争ふ可からず、而して分拆結果は次の如し、

百瓦に付き

- 蒸發氣 一、二〇〇
- 揮發物 一八、八一五
- 灰 二〇、五二〇
- 炭素 五八、七三三
- 屑物 (Loss) 〇、三三二

該炭區は其位置「パウロ、アフォンゾ」鐵道を利用するの便あるを以

て、其石炭を「ペルナンブコ」「バイヤ」「アラゴス」及び「セルキープ」の諸州に供給して利あるべし。

○商船隊

當國の如く、川蒸氣及び太平洋通ひの船舶の航行し得べき水路一〇〇、〇〇〇哩に及ぶ國にありては、宜しく大商船隊を所有すべきなり、大統領ペカニヤ氏が議會に示せる報告を見れば、「ブラジル」政府が天然の水路を更らに廣く使用して利益を増進し得べきを悟れる事明かなり以下に之を抄略せん、

我が國の商船は團體を組織し、航行の範圍を規定し並びに貨物を輕減する事を必要とす、依て之れに對する法律は國會に於て討議すべく、政府は有能なる委員を任命して現存船舶の狀態と容積と

を調査せしめたり。

一昨年十二月三十一日政府は更らに「ブラジル」船舶事業組合と契約して補助金下附期限を六ヶ月に擴張せしが、同組合は種々の進歩せる機關を輸入し、特に貨物輸送の賃銀平均二割を減ぜんとすと、

○ブラジル銀行

ブラジル銀行は日を追ふて繁榮に赴き、經濟及び財政社會に好影響を及ぼせり、誠に其の出納表を繕けば、同銀行の運轉正確にして宜しきを得たるは勿論、當國商業の進歩一目瞭然たり、

昨年四月に於ける同行の差引殘高四、九〇九、一六四磅にして、貸金一、八〇、〇〇〇磅、短日子に交附すべき爲替手形の發行二、〇六七、六四

一、磅を示せり。

多量なる護謨の輸出、珈琲其多の産物の豊多なるは、運動の結果近く輸入せらる可き外國資本と相俟つて、一般の景氣を添ゆるに與つて力あり、

○産業統計

本國政府の監修の下に編纂されたる統計に依れば、工場の數二、二五八にして、其資本六六五、五七六、六六三ミルリスに及び、之れに使用せる職工一五〇、〇〇〇人に達し、其製造七四一、〇〇〇、〇〇〇ミルレイスに上れり、尙此統計の示す如く、日常品の輸入頗る減じたるは、今や當國に於て製造せらるゝに至れるが故なり、

就中織物工場は其の主位を占め居れり、是れ當國に於ては棉花の製

造盛にして、其栽培地の大なる、北米諸國を凌駕する故なり、尙注意すべきは動力の問題なり。當國は目下蒸氣より動力を得電氣は小規模に限らる、水力は其應用の範圍更に廣しと雖も、其方法頗る幼稚なり、

されど水力を變じて電力とし、之を遠方に運び得る曉には、無數の瀑流は外國より輸入する石炭を壓倒して餘ある可し

○溶鑛所設立の勧誘

現政府は當國に於て溶鑛業を發展せしめんとの方針なるを以て、過般製鐵所(鑄鐵)を變じて鍊鐵、鋼鐵と爲す装置、板鐵工場、鑄造所を含むを設立せんとする者には、個人なると會社なるとを問はず、特別の便宜を與ふべしとの法令を發せり、

「ブラジル」ガ品質佳良なる鐵鑛に富めるは世既に定評ある所にして、今「ミナス、ゼラス」州の鑛層を検するに、表面に近くして容易に掘出し得べき場所に在りても、一二、〇〇〇、〇〇〇噸を下ざる極上等の鑛を有す、當國は世界の鐵市場に於て覇を唱ふ可き運命を有するも、不幸にして未だ廣く利用せらるゝに至らず、故に此の富源を開拓すべき方法を講ずるは目下の急務に屬す、

○新産業會社

英人の經營に係るヂヤマンチチ、ラバー、フランテーションなる産業會社は業務開始の許可を得たり、同會社の目的は護謨、珈琲、茶、加々阿煙草等の栽培地を借り、同地に於て商業を營むに在り、而して其資本金二五〇、〇〇〇磅と註せらる、猶此地ラバー、コルボレーション、オ

ブラジルナル會社ありて同じく英人の經營に係り、其目的亦同じ、

○千九百十年の第一季に於ける税關の收入

千九百九年の第一季に於て、當國の所々の税關に於て徴收されたる税は六〇、八七五、九七三ミルレイスなりしが、千九百十年の第一季に於ては七六、四一八、三三六ミルレイスに上れり、

○果物の輸出

「サン、パウロ」なる某商會は「ブラジル」果物の輸出を試みんが爲め、曩きに三噸のバナ、及びパインアップルを紐育に送り、之を無代にて同地の輸入會社に分配せり、

○工業彙聞

「リオデ、ジャイネロ」「ニテロイ」間の海底電線敷設の許可は過般「ブラジル」都府電話會社の手に交附されたり、

「サン、パウロ」「リオ、グランデ」鐵道に於ける「サンタ、マリヤ」「ハソ、フウド」間の運轉開始は千九百十年十月二十日に決定せり、該鐵道の完成と共に「リオ、デ、ジャネイロ」「ホルト、アレグレ」間に直接の交通を開始し得べし。

商務擴張委員の用務を帯びて合衆國滯在中のエウヘニオ、ターネ博士は、目下同國太西洋岸を視察中なるが氏は合衆國より農作科の教師として「ブラジル」農學校に十名の専門家を聘する契約をなす由

○移住統計

一昨年「ブラジル」に來れる移住民は、八五、四一〇人にして、其中二三

〇〇〇は農業に従事する者なり、凡そその四分の一は政府の保護金を受け、移住の目的は地主となるにあり、されど目下は自ら進んで移住するもの多く、統計に依れば保護の下に移住したる當時より六割六分の増加を示す、

〇寫眞器類の賣行

近來「ブラジル」の市場は寫眞器類の需用頓に増加せり、米國の間屋製造家は宜ろしく此の趨勢に鑑みて攻究する所あらんとす、目下需用は大都市に限られたるも漸次小都市にも擴がらんとするの傾向あり(何故に此の需用を生ぜしかと云ふに寫眞屋にて撮影すれば高價なるを以て、専ら素人寫眞を用うるが爲めなり、又た臺紙を飾るは費用を要すること甚だ多きを以て、裝飾の少きもの、發行多し、

〇タイプライターの好評

北米製の品物中南米を通じて最も評判よきはタイプライターなり、米國の製造家には之に着目して代理店又は賣店を置きて營業しつゝある者あれども未だ盛んならず、故に米人は益々此方面を擴張し、同地の商業に詳しく且つ葡萄牙語に通ぜる店員を遣はし、文通、目錄、定價表の如きは悉く葡萄牙語にて印刷する必要あり、因にタイプライター一個の税は其種目と重量とに論なく一四、四〇弗とす、

〇「ブラジル」に於ける衛生及び豫防

嘗て「リオデジャネロ」の衛生状態を改革して名聲を博したる、有名な「ブラジル」の科學者オスワルド、クルーツ博士は「アマゾン」河流域地方に於て猖獗を極めつゝある黄熱病を驅逐するに腐心しつゝあり

若し此方面に於て成功せば、氏は更に河口「バラ」に於ける黄熱病をも撃退すべしと謂ふ、思ふに恐る可き黄熱病にして消滅せば、「アマゾン」地方は實に重荷を下したりと云ふ可く、その富源地は外部との交通益盛とならん、

○千九百九十年度に於ける珈琲産額の調査

千九百九十年度に於ける珈琲の産額は其袋數總計一五、〇五一、七五六に及び、其中二、〇〇〇、〇〇〇袋は千九百十一年度に繰込めり、今年度は氣候不順なりし爲め收獲の減じたるは無論にして、其産額に就きても豫想區々たり。されど本年七月一日賣買に供し得べきもの少くも一、〇〇〇、〇〇〇袋を下らざるべしとは一般の定評也、

○鐵鑛輸送電氣鐵道

「ブラジル」に於ては三二、〇〇〇馬力の發電所を二ヶ所に設立するに決したるが、近く大統領の賛助を得て其一を開始するの運びに至れり、此等發電所は其電力四〇〇哩間の線路に及び、之に依りて「ブラジル」の最大富源とも云ふ可き鐵鑛を輸送す、而して其量少くも一年三〇、〇〇〇噸に及ぶべき見込なりと。

○實業補助金

「ブラジル」に於て補助制度の恩澤を受くる事最も多きは鐵道にして、一線として州又は國の補助を受けざるものなし、而して内國汽船航路及び合衆國との汽船航路の如きも共に政府の保護を受け居れり、最近に於ては補助制度大に發達し、政府に關係ある線路地方の物産に對し直接に金圓を與ふるに至れり、例へば小麥栽培地四九四「エト

カー]毎に一年四、五〇〇弗を與へ、挽割小麦一、四〇〇「ブッシェル」毎ニ一年四、五〇〇弗を下附せり、又新工業は各線路に於て無賃にて原料を輸入し得る特典を與へられたり、

第四 「チレ」

○千九百十年の前半期に於ける外國貿易

「チレ」大藏省の統計に依れば、千九百十年の前半に於ける同國の外國貿易は二六五、一一九、二三九ペソに達し、中一二九、八四二、八〇五ペソは輸入にして、一三五、二七七、四三四ペソは輸出なり、今之を千九百九年の前半と比較するに、輸入に於ては一六、五二四、〇三二、輸出に於ては一一、八二九、九〇一ペソの増加を示せり、

○税關の收入

千九百十年の前半に於ける本國各所の税關の收入左の如し。

金貨に勘定して ペソ

輸入税 二二二、八三五、六四八

輸出税 三四、一〇〇、五〇六

保管税 一五〇、八六七

燈臺及航路標識税 二七七、二三〇

總計 五七、三六四、二五一

紙幣に勘定して ペソ

別税 一五、二二七、七八四

埠頭税 八、一四八

卸荷税及輸送税

七五七、〇四〇

總計

一五、九八二、九三六

○戰闘艦の製造

昨年八月三十日「チレ」政府は排水量二五、〇〇〇噸、速力二三浬の戰闘艦製造の入札廣告を爲し、入札者は同年十月三十一日迄に申込むべしと云へり。

此戰闘艦の圖形は其英國海軍技師の手になれり、而して其の細則に依れば砲及或種の機關は英國式になすべしとなり、政府は之に關し合衆國の四大造船所に交渉せり、

○新燈臺の設置

從來本國の海岸に於ける燈臺の設備は頗る不完全なりしが、燈臺は

當國の商業と密接の關係あるを以て、「チレ」行政官は過般標識會に通牒を發し、二十五ヶ所の燈臺新設費を支出せられん事を請願せり、此中「マゼラン」海峽には八個、「ケープ、ホルン」には二個、「ペナス灣」、「チロ、アルチペラゴ」にも各々二個、其餘の十一個は「コバル」港より「アリカ」港に至る海岸に設置さるゝ筈なり、猶此等の燈臺の建築は入札に附せらるべし、

○千九百十年の前半に於ける外國貿易

千九百十年の前半期に於ける「チレ」の外國貿易は、前年の同期間に比すれば、九、三六三、四四五弗の増加を示し、其中六、一二七、六一〇弗は輸入にして、二、二八五、八三五弗は輸出なり、而して輸入總額は四七、五二九、六七〇弗にして、輸出總額は四九、三五六、三七六弗に達せり、

七月に支拂へる配當金も十二分の好況を呈し、金融も小緩の姿なり、

○鐵の試験

海軍技士及び専門機械師によりて組織されたる検査委員は「チレ」大鐵工場の産出する鐵を検し、その品質佳良にして海軍用其他に充分適當せりと云へり、此等の銻鐵爐は一日優に二百噸を容れ、其製出する鐵を本國に供給して餘りあり、

○硝酸鹽弘布局

「チレ」政府が本國の人民をして廣く硝酸鹽の使用法及び利益に就きて知らしめんとしたる新計畫は頗る満足なる結果を得たり、此新計畫とは到る處の停車場及び列車内に大なる廣告を貼付するにありて、此廣告中には肥料としての硝酸鹽の使用法を圖解を添へて説明し、

及び政府の代理店よりの買ひ方をも示せり。此等の廣告は八月の初めに發布されしが、幾許もなくして國內到る處の農民より硝酸鹽に關して聞合せ來る手紙弘布局の机上に山積したりと云ふ。

第五 「コロンビア」

○「パスト」區に於ける鑛山業

近着の工業鑛山雜誌は「パスト」區の鑛山業に關し興味ある報告を爲せり。依て次に其全文を載せん。

「ボルベニア」鑛山は本國其會社の所有に係り、「ウアルカラ」山脈の角閃花崗石系統と變性片岩との接觸帶に當れり、而して花崗石及び變性片岩の鑛脈多く發見され、益々發達の域にあり、多量の純金

も地上に露出し或は崩壊せる地帯に發見さる。鑛一噸の價は平均四十七弗にして其中二十二弗は金なり。又眞正の花崗石が鑛に含まれ一噸七弗の價を有せるは興味ある現象なり。同鑛山は今後の發達期して待つべきなり。

「ボンボナ」鑛山は米國某會社の所有にして、行く々々は大工場を建つる筈なり。此工場は今夏は注文陸續として來る見込なり、而して鑛は「ボルベニア」鑛山と同質なり。

「ウアルカラ」一帯の鑛は「ボルベニア」「ボムボナ」區の鑛とは全く異なり、黃鐵鑛を含み *chalcopyrite* に富めり。此鑛は品質下り、厚さ鑛脈に於て現はれ、中には厚さ一二五米に及ぶものあり、此鑛帶は「エクワドル」某會社の所有にして、漸次發達しつつあり。

「レデシアン」鑛山は本國某會社の所有なるが、品質下等なれば容易に使用し得べき鑛のみ處置せん爲め壓碎場建築中なり。此地の鑛は花崗岩より分離せる物なり。此他某會社も「ロシオ」一帯の鑛山の軟脆鑛を處置する工場の建築中なり。

「コンカルヂア」鑛山は此地方に於て最も重要なものにして、近來著しく發達し多量の軟性石英を出せり。此石英は一噸に付き一、半乃至二オンスの金を含めり、該鑛山は既に五十の壓斷機を備へたる工場を有せるが、追て新式の大工場をも作る筈なり。

「マドロナ」鑛山は「コンカルヂア」と同一の會社の有に係り、二十の壓斷機を備付けたる工場を有せり、「マドロナ」は本區中最古の鑛山にして、「サルバ」鑛山も略ぼ之と同様の状態にあり、「アメリカ」某

會社は「カニレラ」一帯の鑛山を有し、漸次發展しつつあり。

此他發掘權を許可されて踏査中のもの多々あり。「パステ」區の諸鑛山一年の産額次の如し。「コンカルヂア」二三四、〇〇〇弗。「サコロ」七五、〇〇〇弗。其他五一、〇〇〇弗。總計三六〇、〇〇〇弗。此他土人の營める金山の産額一年二四〇、〇〇〇弗なるを以て「パスト」州一年の總産額六〇〇、〇〇〇弗に上れり。

○金脈の發見

當國「マミサレス」區の「バルカ子ス」金山に於て、地下三百米の邊に厚さ二米の金鑛を發見せり。技師の言に徴すれば、こは從來「マミサレス」區に於て發見されたる金鑛中最も價值あるものなりと。

第六 「コスタリカ」

○「コスタリカ」「パナマ」國境條約

「コスタリカ」及び「パナマ」の兩國は其の國境問題に關し久しく相争ひ、千九百十年二月十七日兩國の全權大使は華盛頓に會し、此争論を合衆國上等裁判所長に一任するの件を議し、後日を期して返答すべしと確定せしが、八月十二日「コスタリカ」政府は之を是認せり。

○電氣器具に對する税關の評價

「コスタリカ」財商務省の發行に係る八月十九日の省報は、本國の税關が輸入電氣器具に對し其種目に係らず十六仙半の關税を徴し居るは甚だ不當なるを以て、當事者は各器具の形狀、使用、原料等を酌量し成可く公平に税率を定むるべしと規定せり。

此規定に依れば、磁器交換器の如きは第七項の税率の下に置く可く、

金屬交換器は第十七項の下に置くべし。

○木製箱及び鐵葉箱の無稅輸入

「コスタリカ」大統領は過般法令を發して、木製箱及び葉鐵箱の輸入に對し全然關稅を免ぜり、但し輸出の目的にて果物及び野菜を入れたる箱は此の限りに非ずと、尙ほ免稅期間は法令發布の日(昨年七月十七日)より算へて二年間なり、

第七 「エクアドール」

○「ロハ」「タモラ」間道路の建設

キト―公事作業局は「アルヘンチナ」探檢家テミストクレス、パエセ氏の「ロハ」より「タモラ」東部地方に通ずる道路建設案に多少の修正を加へてこれを採用するに至れり、道路の全長一五五基米、斜傾五パー

セント、幅五米にして經費四〇、〇〇〇スクレの見込なり

第八 「ガテマラ」

○一九一〇―一一年度豫算

「ガテマラ」國會は頃者一九一〇―一一年會計年度豫算案を通過せり、支出額は三六、九四八、二三八、五六ペソにしてこれを分類すれば左の如し

ペソ

政府司、法省	四、五九九、六八四、〇〇
外務省	一、〇〇九、八三九、二〇
大藏省	一、七〇三、二一六、〇〇
信託省	二二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇

拓殖省	二二〇四、〇五二・九六
軍事省	二四一九二六六・一六
文部省	二五二六、〇一五〇〇
年 金	四八六、一六五・二四
計	三六、九四八、二三八・五六

○重要なる石油免許

「ガテマラ」行政廳は本國政府及合衆國「インターナショナル・ライト、エンド、パワー、コンパニー」の代表者間に締結されたる精油會社設立契約を認可せり、

該免許は會社が作業の爲めに工場及其他必要家屋建築に著手の日より向十年間は獨占的性質を有するものなり、

而して該會社は其の報酬として純收入の五分を政府に支拂ふ義務を有す、蓋し該歩合は公立學校維持費に當てらるべし、當會社の輸入する機關及原料は一切關稅及其他の諸稅を免せらるべし、

○提議中の國立銀行

昨年七月二十日以來國會は大藏省の提出せる財政問題解決案審議のため臨時召集を行ひ開會中なるが、其の論點は主として國債に關する商議及國立銀行設立にあり、

第九 「ハイチ」

○大統領の報告

パン・アメリカン・ユニオン協會は頃日大統領が本年五月十六日國會に出したる重要なる報告の寫を受取りたるが、該報告は一九〇九

年間の國勢につき一般的説明を爲せるものなり、

大統領は外國との關係に就き述べて曰く、「ハムチ」國は世界列國と親善なる關係を保有し來れりと、一九〇九年一月七日「ワシントン」市にて調印を終りたる、合衆國「ハイチ」間の仲裁條約は國會に於て承認され、逃亡人送還條約は一九〇九年十月十一日を以て「ドミニコ」共和國と調印を終り、尙「キューバ」英國とも同一條約に就き商議中なり、報告に依るに會計年度一九〇八―九一年間輸入總額は五、八八〇、六七八・七九弗にして、一九〇七―八年間に於ける四、七〇一、一六〇・八〇弗に對し、一、一七九、五二七・九九弗の増加を示せり、是れ全く爲替相場は遅々たれ共確實なる増進及新施政が國內に及ぼしたる信用に因れるものなり、

一九〇八―年間輸入されたる金銀貨は八五二、七六二・七九弗にして一九〇七―八年間の八〇六、九九六・五〇弗に比較して四四、七七六・二九弗の増加なり

重要輸出品は下の如し、綿、山羊皮、牛皮、シーダ、マホガニー、リグニエームビーク、染料樹、珈琲、カカヲ、蜜蠟、香橙皮等なり、綿花輸出總額は六、二七九、三〇〇磅に達せり

上記數字は會計年度一九〇八―九一年間即ち一九〇八年十月一日より一九〇九年九月三十日に至るまでのものなり、

一九〇九―一〇年前三ヶ月即ち一九〇九年十月、十一月、十二月間の輸出入額は左の如し(比較の爲め一九〇八―九一年度のものもこれを示せり)

輸入(一九〇八—一九年)

紙幣

七九八、七二九・二五

ゴウルデス

二一六、三五九・七九

ゴウルデス

輸出(同上)

五、〇二三・七六

四〇三、五一七・二二

輸入(一九〇九—一九〇年)

七二〇、七三九・二六

三二六、六六四・四五

輸出(同上)

六、一二三・三一

六五三、四五六・〇五

○財政

報告に依れば一九〇九年末に於ける本國通貨左の如し

アメリカ金貨

一、〇〇〇、〇〇〇弗

銀貨

一〇、〇〇〇弗

アメリカ銀行手形

五、〇〇〇弗

一、一一 goulde 手形

七、一〇四、七四七

ゴウルデス

五 goulde 手形

一、三三六、〇六五

白銅貨

六、〇〇〇、〇〇〇

銀貨

一三二五、〇〇〇

一九一〇年三月三十一日に於ける公債情況左の如し

外債

一一、三四八、五九六・二五弗

内債

一一、三七二、八五二・〇三弗

未拂殘金利息

一一五、六〇四、七五弗

諸債務

一、五八九、七四一・二三弗

計

二六、三三六、七九四・二六弗

大統領曰く目下三箇の鐵道敷設中にして、更に一箇の市街鐵道及二箇の鐵道計畫中なりと、

一九〇九年六月に着手したる「ポルト、アン、プリンス」レガ子線敷設工事は已に完了せるにより遠らず開通の運びに至るべし、

鐵道及市街鐵道一般収入は二七五、九三四・七二ゴウルデスにして其支出額は二一〇、九〇二・五九ゴウルデス金貨三七、二二二・一六弗に達せり

現政府は農業の發展、學校制度の改善には尤も留意し、國民教育は國家發展の原則なりとは其の認むる處なり

第十 「ホンヂユラス」

○中央亞米利加に於けるコルク樹

海岸及河岸に住居せる中米土人は多數のコルク樹を發見する時は直徑六吋乃至十二吋のものは毎く切伐し、輕きものなれば肩に乗せて河岸又は海岸に運び、船の來るを待ちて積込むなり、船は三本マスト、スクーナ型にして、葡萄蔓にてコルク樹を連結して筏となし、船に曳き上ぐるなり、該樹は目方頗る輕く一、〇〇〇呎⁸/₈吋のもの僅二、〇〇磅に過ぎず、合衆國にて浮衣製作に使用さる、頃者「ホンヂユラス」政府は一千呎につき金貨二弗の輸出税を課するに至り、輸出者の利益僅少となりたれば該輸出税は全く貿易を消

滅せしむるに至るべし

第十一 「メキシコ」

○下「カリホルニヤ」鐵道

「メキシコ」政府は政府及パーシフク、イタリアン、マーブル、コンパニ
ーの代表者たるゼームスピーターラー氏の間締結されたる下「カ
リホルニヤ」南部地方に於ける線路敷設及起業契約を是認せるか該
線路は太平洋岸なる「セリトス」より「パスカデロ」の「マルブレ、ソ子」
に至るものなり、

○「チャパス」に於ける好機

全米鐵道は豊沃なる「ソコヌスコ」郡と「メキシコ」市とを連絡せり、

南部に於ける河川航路は擴張せられたるが尙ほ「チャパス」の三分の
二は孤立状態にあり、目下外資を輸入して開拓に努めつゝあり「チャ
パス」には廣闊なる農業地ありて、生畜(馬、羊、牛、豚等)、果實の飼育、栽
培、圃地、酪農地、栽植地として最も適せり、縦横に流るゝ諸川により
絶えず灌漑せられ、山麓の小丘にては有名なる珈琲栽培せらるゝ「チャ
パス」現存山林を考査するに、製材、什器荷車の製造に將來有利なる
べきか、

○「グアデルハラ」倉庫

アメリカ協會は當地に倉庫及屠場を設立中なるが、經費約二五〇、〇
〇〇弗を要すべし、該設立は地方需要に應ずべけんも、現今にては未
だ外國市場に供給するには至らざるべし

○「カリホルニア」新設醸造所

目下「クリアカン」に麥酒醸造場及製氷所新設中なるが、是れ近來麥酒、氷の需要頓に増加したるが爲なりと、「クリアカン」は人口二〇、〇〇〇を有し、麥酒の需要日々十六乃至二十バレルに達せり、

○出來合衣服

「メキシコ」にては出來合衣服の時代未だ去らず、當地の氣候は熱帶的なれば衣服は氣候に適するを要す、輕快にして堅牢なる衣服を廉價にて市場へ出せば、有利なる商賣を行ふに至るべし、只記憶すべきは綿布出來合衣服は二、二〇磅に就き合衆國通貨一・三八弗の輸入税を支拂ふを要することは是れなり

○「チャパス」護謨

一九一〇年護謨産額は一九〇九年産額以上の見込なり、「メキシコ」國は多年護謨大産地として知られ、年額一二、三七二、二四一磅に達せるが、是れ主として地質豐沃なるに因れり、

○「南メキシコ」に於ける山羊の飼育

皮革の需要頓に増加したるにより、山羊の飼育は頗る重要視せらるゝに至れり、以前は山羊飼育地として荒地を用ひたるが、目今良地使用の必要を認めつゝあり、

○「ユカタン」に於て蝗蟲發生

目今「ユカタン」を通じて蝗蟲多數發生し、耕作地の被害頗る大なり「ユカタン」主産物の一つたる穀類は大部剿滅に歸せしめられたり、爲に大量の穀類輸入の必要あるべし、

○新設鐵道

「ベラクルズ」より「ガテマラ」國境に至る「センムライ」線工事は目下進捗しつつあるが、該線路開通せば豊沃なるパナナ産地を貫通するに至るべし、

○「マサトラン」港に於ける海運業

一〇九年七月一日より一九一〇年六月三十日に至る一年間に於ける入港船舶数は五四四艘にして「メキシコ」三六〇、「アメリカ」一〇九獨逸三七、英國一六、ノルウエー二六、佛國六の割合なり

○玩具市場

數年來「メキシコ」市に於て「アメリカ」製玩具頓に増加せり、メキシコ市に於て玩具需要の時季は休日、クリスマスに限らずして、皆一年中

繼續するものなり、

○「アカプルコ」開發

「アカプルコ」發展の一大欠點は其の運輸交通機關の不備にありと、海岸線及公道敷設計畫中なるが、公道は「アカプルコ」より「メキシコ」市に至るものなり

農業は最も重要な産業にして、又綿花、砂糖、甘蔗、護謨も栽培せらる、此外家畜の飼育、果物、栽培及僅少の製造業行はる、土地は頗る豊沃なれ共未だ開拓せられず、

第十二 「ニカラグワ」

○關稅免除貨物

當大統領は公衆の便宜上昨年九月一日以後六ヶ月間左記物品の輸入

税を免ずるに至れりと、即ち

玉蜀黍、菽、荳米、豚脂、砂糖、麪粉、燈油、gasoline、蠟燭、石鹼、脂、硫黃、油、鹽、其他消毒劑

第十三 「パナマ」

○議會

「パナマ」共和國議會は九月一日首都にて開院式を舉行し、大統領外交官、領事官等列席せり、コンスタンチンス、アロセメナ氏は議長にエリオヒ、オカナ氏第一第二副議長に當選せり

第十四 「パラグワイ」

○政府の報告

第拾四議會の初に當り、副統領兼大統領代理ゴンサレス、ナベレ氏が「パラグワイ」の國會に提出せる「報告に依れば、千九百九十年度に於ける「パラグワイ」の狀況一日瞭然たり、

氏は報告に入るに先ち序言して曰く、我が政府は外國との友情を不變に維持せんとするのみならず更らに政府の基礎を鞏固にし國民をして安堵せしむるに特に意を用ゐたりと、

又「全米會議」に關して氏は曰く、

「全米會議の開會は我が國民が此會議に参加するは啻に一片の形式たるに止まらず、又以て國際間の親善を圖らんと切望せるより出でたるを示す絶好の機會なり、現に我が報告には「全米會議」の目的とせる結果を論ずるに當り、その過去に於ける使命は時事問

題にして關繫諸國の妥協に依りてのみ決定し得べきものに就きて「亞米利加」諸政府の意見を質し以て之を將來に供へ、斯くして諸國の一致協力を堅うするにありしなりと斷ぜり、

以下の定約は本年度に於て締結され審査を経たるものなり、

(一)合衆國との歸化協約、(二)獨逸との逃亡人引渡し條約、(三)アル「ヘンチナ」との法律書類の送付法を簡單にするに就ての協定、(四)合衆國との仲裁條約之にして、此他奧太利匈牙利との逃亡人引渡し條約も議決中なり、

國稅の徵收を規定せる法律に關する報告に依れば、此方法に依りて徵收されたる歳入は各市に必要なる公共の工場を建つるを許し得へし、而して首府の收入も大に増加し千九百九年には二、〇四二、〇〇〇

五弗に達し、之を千九百八年に比すれば六五三、七一八の超過なり

郵便物の總數は五、四五六、七七六にして小包の總數は一〇、五一八

電報は一九一、五七一に及べり。而して千九百九年に於ける郵稅の收

入四九三、五六三ペソ(紙幣)にして、電報料は六一五、六八にペソ

ス(紙幣)に達せり。又同年中二三五、四五八米の電線を新たに開通せ

り、

「パラグワイ」の統計局は國勢調査に着手する筈なるが、特に農業及び牧畜業には多大の注意を拂ふ筈なり

「パラグワイ」鐵道延長工事は着々として進行し、「ヒラポ」河には既に鐵橋を架せり。此線路は「ポサダス」に於て「アルヘンチナ」東北線と聯結する筈なるを以て完成の暁には「ボエノスアイレス」と直接の交通

を開始し得べし、

本政府は飽く迄節限政策を固守せるに依り財政状態大に進歩せり従つて千九百九年六月十七日の法律に依り政府は國債の交渉を委任されたるにも係らず未だ一回も之れを適用したる事なし、因に國立銀行に於ける積立金米貨に換算すれば四五〇、〇〇〇弗に及べり、大統領は強制的徴兵制に關する法律の通過せん事を願へり、軍事法典の改正も調査中商議中なり、而して本國の軍隊中忠良にして且つ有能なるなるものには多くの恩賞を與へられたり。海軍も漸次擴張する筈なれども目下は海防船及び運送船に止まれり、但し海軍兵學校は一昨年中開始せられたり、

此他政府の方針としては、あらゆる方法に依りて學校を獎勵し、皆學校制度に關する法律を會議に送れり。依て學校設立獎勵局を開始せるが、こは學齡生徒相當の數に達する迄繼續せらるべし、

文部省は生徒を開化に導かんが爲め、之れに必要な器具及び裝飾を全國の諸學校に備へ付くるに着手し、器具の如きは成可く斬新なるものを採用せり、教科書は其定價當國の市場に於けるよりも廉なる時は歐洲に求め、教書の印刷も之れに準じ、學校用の教科書は普通兒童には相當代價を以て、貧兒には無代價にて供給する計畫なり、

○千九百九年に於ける商工業年報

千九百九年は「パラグワイ」商工業の發達に不利なりしにも係はらず輸出は輸入に比し約一、〇〇〇、〇〇〇ペリスの超過を示せり、千九百八年に於ける不景氣は千九百九年の秋迄繼續し、政治上の紛擾の

爲め事業復活の機なかりしなり。領事フリス氏の報告によれば煙草及棉花の栽培には特に意を注ぎ、此他二三鐵道の計畫もありと。

○「パラグワイ」中央鐵道の年報

モンテビデオ、タイムスは「パラグワイ」中央鐵道會社理事の報告に係る半年報の概括を掲載せり。曰く

千九百九年の後半期に於ける同會社の總收入は三、五五二、〇九二弗にして、之れを千九百八年に比較すれば五四二、七三一弗即一割八分の増加なり。又千九百九年後半期の支出は一、七九三、四一二弗にて千九百八年に比較すれば一〇五、三八四弗即六分二厘の増加なり。支出率は五割五分五毛に當れり(前年は五割五分一厘一毛)而して車運轉より生じたる總收入二二、六三六磅にして前年に比し五、

九三五磅即三割一分の増加なり。又 prior lien debenture stock に利子を支拂ひたる後、半年間の純所得一二、五八七磅に及べり。前年よりの殘高は四一、四九七磅なるが、此中積立金として一〇、〇〇〇磅及び前年期間に於五分の debenture stock に置ける利子一四、六〇八磅を減ずれば殘高一六、八八八磅にして、之を前の一二、五八七弗に加ふれば總計二九、四七五磅となる。猶此より軌間變更する管理費として五、七四〇磅を減ずる必要あり、從來「アルヘンチナ」より會社の軌間を變じて標準軌間とし、「アルヘンチナ」東北鐵道及び「エントレリアス」鐵道と同様になさんと交渉しつゝありしが遂に首尾よくまとまりたり、茲に於てか「アルヘンチナ」政府は同會社の一〇磅の株券二二、〇〇〇を豫約し、及び軌間の變更と共に

無用となる鐵道用車輛を買上ぐるに同意せり、故に會社は「アスンシオン、ピラポ」間及び「エンカルナシオン」に到る全線路を變じて標準軌間とし之れに新車輛を据付けざるべからざるに至れり、此變更の曉に於ては中央鐵道は最早地方線にあらずして、「ススンシオン」「ボエノスアイレス」間の幹線の一部とならん、

第十五 「ペルー」

○農事試驗場

「ペルー」政府は農事發展の爲相當の手續を経て請願すゆるに於ては農業者の私有田畑に試驗場を設くべきを規定せり、此際農業者は關係試驗場事務所の訓令に従ひ、自己試驗場にて作業するを要す、

○鐵道便り

近く「カハマルカ」區なる「オナウ、チレテ」間に於て完成せる鐵道線路は既に業務を開始せり、「チレテ」「マグダレナ」間「ワンカヨ」「アナクチヨ」間、及び「リマ」「ワチヨ」間の鐵道敷設工事は政府の手に依りてせらるへべく、近く竣工するに至るべし、

○千九百十、十一年度の豫算

千九百十、十一年度の歳入總額三、九九九、〇四五「ペルー」磅にして、歳出三〇八三、二八三磅に確定せらる

第十六 「サルバドル」

○公債

當局統計表によれば一九〇九年末に於ける公債情況左の如し、

金貨

償金國債、其他の債務……………九、七四五、四八〇・二八

銀貨

「サルバドル」公債(政府用、其他)……………五、五三四、八四七・七三

一割五分爲替……………一四、六一八、二二〇・四二

計

二九、八九八、五四八・四三

○豫算(一九一〇—一一)

「サルバドル」國會は一九〇—一一年度一般豫算法案を通過せり

收入概算左の如し

輸出入税

六、九一一、七三二・ペソ

内國收入

三、四〇八、〇五〇・ペソ

計

一〇、三一九、七八二・ペソ

政府總支出額は一〇、三七一、八六九、六七ペソと確定せるがこれを配分せば左の如し

國會

四〇、九八〇・〇〇ペソ

大統領

四一、三四〇・〇〇

内務

一、二五〇、四六三・〇〇

農務

六三六、八〇〇・〇〇

文部

七二四、六五二・〇〇

外務

一一六、〇八〇・〇〇

司法

五〇七、一九二・〇〇

慈善	五二九、三三六・〇〇
大藏	六七〇、二五六・五〇
信託	三、二九一、二六〇・一七
軍務	二、五七三、五一・〇〇〇
計	一〇、三七一、八六九・六七

總收入總支出額を比較するに五二、〇八七、六七ペソスの不足額を生
ぜるを見るべし

第十七 「ウルグワイ」

○統計改正

一九一〇年七月一日發布の行政廳令により輸出入貿易に關する統計

統計表は一國貿易の擴張増進の方向を決するに當り與つて大に力あるものなるが、モンテビデオ、タイムズ紙は該法令を撮要して曰く

増加減少により生ずる價額差違は毎年度輸出入總額の上にて計算すべし、商況の報告は毎季節これをなし次季の經過し去らざる内にこれを發表すべし、一年間の報告は歳末後六ヶ月以内これを發表すべし、統計表の整理し居らざる年度（一九〇七、一九〇八、一九一〇）に關しては總年額を發表すべし、輸出統計表に於ては、算定凡て輸出税支拂額による外、市場時價に應じて作爲すべく、時價は税關所長商品會議所と商議の上決定さるゝものなり、尙ほ運送通路に當る地方を明記すべし、總計に關しては前二年

度のものと比較を爲すべし、是等發表は一般統計發表を妨害することなく、可及的迅速に已知件を傳達すべし、

税關當局者は必要手段に訴えて該令實施に努め、必要なる吏員を任命すべし、該令は發布の當日より効力を有す、

○モンテビデオ港の大擴張

「モンテビデオ」港工事は頗る擴張せられ、現工事に加ふるに上部構造を以てすべし、改修費は五、三二二、九五七弗を要すべく、當局豫算によるに、其の二割額は未定改修費及衛生、人命救助、消火装置等の事業に要すべければ都合總計六、三八六、三四六弗を要すべし、諸工事は一切開始の日より向ふ四ヶ年間に完成の豫定なるが、現工事擴張の結果總支出額一三、五一一、六九弗を計上するに至るべし

○一九〇八年中「ウルグアイ」に於ける家畜

一九〇八年「ウルグアイ」に於ける家畜は左の如し

騾	一七、五八一
山羊	一九、九五二
驢	四、三五八
豚	一八〇、一九七
馬	五五六、二七七
牛	八、一九二、五四二
羊	一七、七三〇、二八九

○「ウルグアイ」に於ける自動車

一九〇五年以來「ウルグアイ」に於ける自動車輸入は着々増加し來れり

若し摩損し易き部分を二重装置にし、下層を護牀により防禦したる
る機關輸入さるゝに至れば、亞米利加製造業者は有望なる販路を得
るに至らん、輸入税は一割三分なり

第十八 「ベ子ズエラ」

○輸出特典廢止

大統領は一九一〇年三月九日發布の特定物産特典令の廢止を命ぜり
と、該法令は左記物産に限り輸出の際特典を與ふべきを規定せるも
のなり、即ち甘蔗類、織物原料、果物（バナナを除く）、油質原料、米、玉蜀黍
タピチカ、ユツカ（スターチの如き）、蜂、蜜、蜜蠟、豚脂、牛酪、乾酪、羊毛、牛
魚肉等

○肉類輸出報告

英國倉庫は八月中イングランドに向け「ブエルト、カブエロ」港より冷
肉の初荷を輸送せりと、ベ子ズエラ「イングランド」間の輸送を成功
せしめんとするは其の目的とする處にして、其使用船には冷蔵機關の
設備あるにより冷肉以外生果、バペロン（褐糖）をも三週間以上完全に
保存し得べし、一輸送者は同一船にバペロン七五、四一六磅を積込み
イングランドに輸出せるが是實に「ブエルト、カブエロ」港より歐羅巴
に向けバペロン輸出の端緒なり

○「ベ子ズエラ」に於ける石油

「ベ子ズエラ」に於ける廣大なる油區の牛耳を執れるマラカイボ實業
家の一團は外資或は内資を投じて其油區開發をなさんと企圖しつ

あり、該油區附近は河蒸汽或は湖蒸汽にて至るを得、一團は「ベ子ズ
エラ」政府との契約條件により條播機、機關器具の無稅輸入を免許さ
れたり、此地方に於て濃淡二種の原油發見されたるが、「ベ子ズエラ
人の燈油消費年額は一、〇〇〇、〇〇〇ガロンに達し且該地方は特に
有望なれば今回の舉は多分成功するに至るべし、

○計畫中のバナナ栽培

南米各地のバナナ栽培の成功せるに勵まされ、實業家連の一團は政
府に請ひて「マラカイボ」湖南岸にバナナ栽培の許可を得たるが、該地
方は風害無く土地頗る豊沃なり、彼等は目下其產物賣捌市場を得ん
と努めつゝあるが、其確定次第作業に着手すべしと

明治四十四年三月二十日印刷

【定價金貳拾錢】

明治四十四年三月廿五日發行

東京市麻布區飯倉片町十四番地

編輯兼 今 井 安 良

印刷人 川 名 芳 三 郎

東京市京橋區山城町一番地

發行所 日本羅甸亞米利加協會

東京市麴町區平河町二丁目一番地

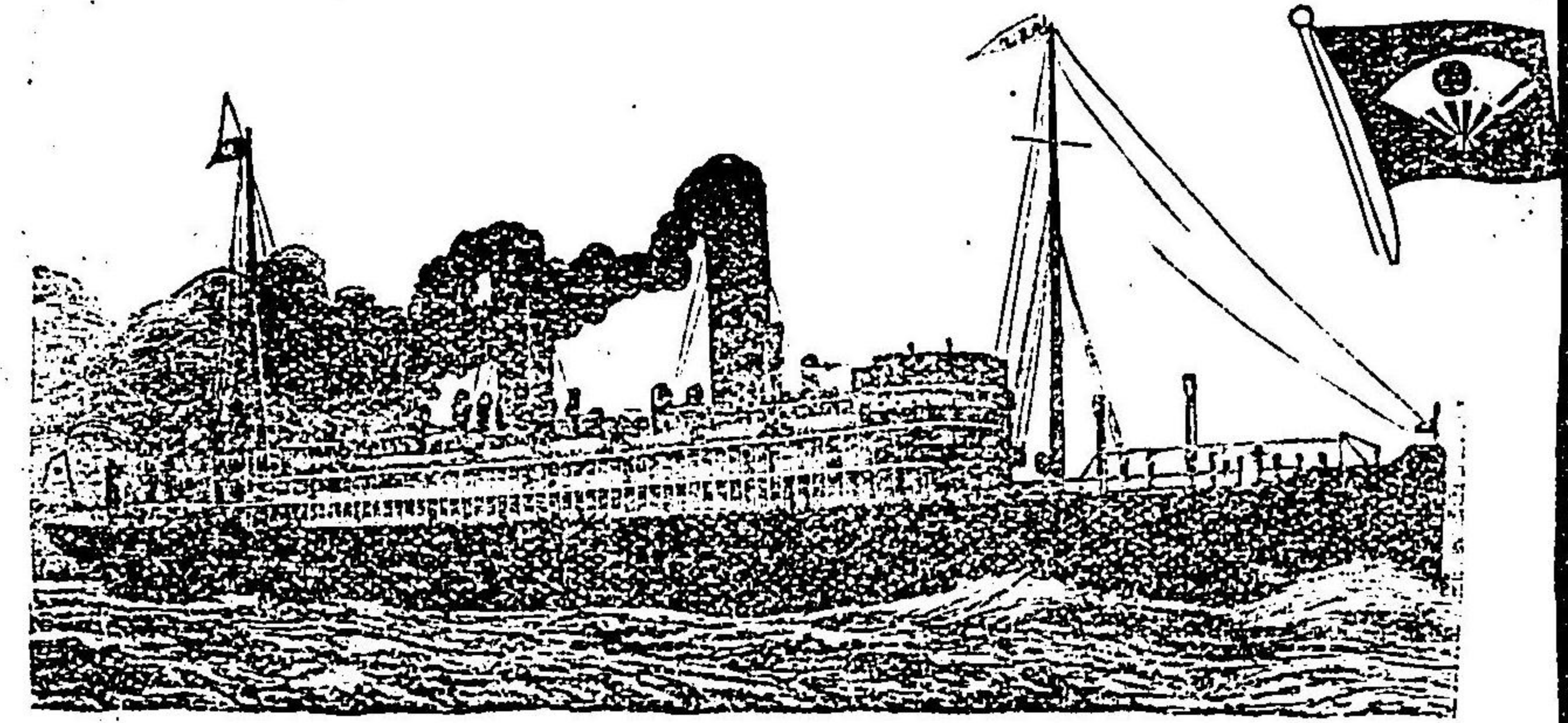
印刷所 川 名 和 成 堂

85
6651

東洋汽船株式會社

東京市麴町區有樂町一丁目番壹地

北米航路 (太平洋上最速最美ノ汽船) 長崎、上海、香港間 神戶、橫濱、桑港	天洋丸 二一、六五〇噸	地洋丸 二一、六五〇噸	日本丸 二一、〇〇〇噸	亞米利加丸 二一、〇〇〇噸	貨客取扱所 橫濱市山下町十七番 神戶市京町八十一番 長崎市大浦七番(代理店) 三井物產會社支店	南米航路 (東洋、南米間唯一ノ定期航路) 香港、神戶、橫濱、ホノルル、サリナクルス、ヤカレ、パライソ間 「サリナクルス」 「ヤカレ」 「パライソ」	紀洋丸 一七、二〇〇噸	武洋丸 一〇、五〇〇噸	香港丸 一一、〇〇〇噸
--	----------------	----------------	----------------	------------------	---	--	----------------	----------------	----------------



Linea de Sub-America.

Entre

Hongkong, Moji, Kobe, Yokohama, Honolulu, Manzanillo, Salina Cruz, Iquique and Valparaiso.

Unico Servicio Directo y regular del Extremo-Oriente a' Mexico y Sud-America.

- "Kiyō Maru".....17,200 Toneladas
- "Buyō Maru".....10,500 "
- "Hong kong Maru".....11,000 "

Oficina Principal.....No 1 Itchome, Yurakuchō, Kojimachitō, Tokyo.
Sucursales.....{ No 17 Yamashitachō, Yokohama.
 { No 81 Kyomachi, Kobe.

Agentes: en todos los puertos mencionados.

本書は本會々報として發行したれども咄嗟の間に上梓するの止むなきに至りたれば材料の杜選なるは深く編者の謝する所なり、

337
80

100-100-100

026899-001-7

337-80

最近南米事情

今井 安良 / 編

M44-45

ADG-0016

